

【2026年度(R8)】

# オンライン研修案内

“全国規模で行われている多彩な研修コースを、熊本で受講可能！集合研修と同等の内容を、熊本ソフトウェア株式会社の会場で受講できるように、パソコンやネット環境をすべて用意します。あなたは体ひとつで会場へ訪れるだけです。疑問点などあれば、その場でマイクやチャットで質問するなど、コミュニケーションを取りながらご受講いただけます。



## 人材開発支援助成金が利用できます！！

※人材開発支援助成金は、事業主等が雇用する労働者に対して、職務に関連した専門的な知識及び技能を習得させるための職業訓練等を計画に沿って実施した場合等に、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部等を助成する制度です。

従業員の皆さまのスキルアップのための研修受講に、この制度をお役立てください！詳しくは熊本ソフトウェアまでお問い合わせください。

# ■オンライン研修受講可能一覧

・熊本会場(熊本ソフトウェア(株)研修室)で実施分の一覧です。詳細はお問合せ下さい。TEL:096-289-2395

## DX

| 研修コード  | コース名   | 受講料<br>(税別) | 日程 | 開催日程   | 時間          |
|--|--|-------------|----|--|-------------|
| ULA07R   | <a href="#">DX推進のための経営戦略コンサルティング</a>           | 70,000円     | 1  | 2026-05-13<br>2026-07-10<br>2026-08-03<br>2026-08-19 | 0930 - 1700 |
| <p>「経営者としてデジタルトランスフォーメーション(DX)の必要性はわかるが何をすればいいのか」「現場にDXの検討や実験的なことはさせてみたが、次のステップである事業化に踏み出せない」と悩んでいる経営者や事業責任者の方に対し、コンサルタントや営業、上流SEの皆さんは何をどう提言すればよいのでしょうか。このコースでは、コンサルタントや営業、上流SEの方を対象に、DX推進に取り組む経営者や事業責任者の方と共に経営戦略を立案するためのポイントをご説明します。[PDU: Business Acumen 6.5]</p>      |  |             |    |  |             |
| ULA39R   | <a href="#">DXリテラシー入門～DX時代に求められるリスキリング～</a>    | 40,000円     | 1  | 2026-04-14<br>2026-07-08                             | 0930 - 1700 |
| <p>企業や官公庁などの組織がDXに取り組むにあたり、各個人や組織に求められるリスキリングや「DXリテラシー」の内容とその必要性について学びます。近年、社会のDXに対する意識が高まる一方で、DXへの取り組みがうまくいかなかったり、組織内でも一部の部署だけが取り組んでいて危機感の共有や意識改革の推進には至っていないというケースが散見されます。本コースでは経済産業省から発信される情報をベースに、各組織・個人に求められる「DXリテラシー」について、土台となる基礎知識や必要性をリスキリングの成功事例を交えながら学習します。</p> |  |             |    |  |             |
| ULA53R   | <a href="#">デザイン思考による新ビジネス仮説立案～DX営業への第一歩～</a>  | 90,000円     | 2  | 2026-06-04<br>2026-07-23<br>2026-09-16               | 0930 - 1700 |
| <p>顧客企業において、現在業種を問わずDXが進められています。お客様に最も近い立場にいる営業職にこそ、既存業務の効率化といったカイゼン視点での提案ではなく、新たな価値を提案することが求められています。これまでにない視点で仮説を立案し、お客様の新規ビジネスをお客様と共に考えるアプローチの実践が、営業職としての大きな付加価値となります。本コースでは、デザイン思考を用いて、アイデア発想や共創活動、ビジネス創出活動で必要となる基本的な考え方や手法、活用される主要なツールについて、ワークを中心に学習します。</p>         |  |             |    |  |             |
| ULB80R   | <a href="#">DX推進のためのデザイン思考</a>                 | 60,000円     | 1  | 2026-04-24<br>2026-06-10<br>2026-07-03<br>2026-09-02 | 0930 - 1730 |
| <p>DX(デジタル・トランスフォーメーション)を推進するに当たり、現在の事業や業務について深く分析し、理解を深めることが重要です。特に、デザイン思考を用いて、顧客や従業員の立場から考察し、理想像を模索する思考が求められます。また、理想像の実現に当たり、デジタル活用アイデアを発想し、試行錯誤しながら磨き上げる思考も求められます。本コースではDXを題材にデザイン思考の実践トレーニングを行い、DX推進に向けたデザイン思考の実践力を磨きます。</p>   |  |             |    |  |             |
| ULB93R   | <a href="#">DX時代のICTトレンド技術 ～ビジネスパーソンの必須知識～</a> | 50,000円     | 1  | 2026-05-13<br>2026-07-09<br>2026-08-06               | 0930 - 1700 |
| <p>デジタルビジネス時代に新規ビジネス創出や業務改革を推進するに当たり、AIやIoTなどのICTトレンド技術を活用する動きが広がっています。今や情報システム部門だけでなく現場部門においても、ICTトレンド技術の概要を網羅的に理解することが求められています。本コースでは、デジタルビジネス時代で活動する全てのビジネスパーソンに必要なICTトレンド技術について、活用事例をベースに、各技術の位置づけ・つながりを学習します。</p>   |  |             |    |  |             |

|  |   |         |   |  |             |
|--|---|---------|---|--|-------------|
| ULF14R   | <a href="#">デザイン思考の基礎 ～ビジネス価値を見出すために～</a> | 90,000円 | 2 | 2026-04-16<br>2026-05-18<br>2026-06-17<br>2026-07-21<br>2026-08-24<br>2026-09-07<br>2026-09-24 | 0930 - 1730 |
| <p>現在、「デザイン」という概念は製品から、サービスやデジタル・ビジネスにまで拡張されつつあります。本コースでは、幅広い視野からイノベーションを創出する方法論として注目されている「デザイン思考」について、[観察→直観や内省によるコンセプトづくり→実現のためのモデル化]という基本プロセスを学び、身の回りに潜んでいるビジネス価値を見出すスキルを高めます。[PDU: Business Acumen 14]</p> |   |         |   |  |             |
| ULF67R   | <a href="#">ビジネスモデルの基本</a>                | 50,000円 | 1 | 2026-04-14<br>2026-05-15<br>2026-06-15<br>2026-07-17<br>2026-08-17<br>2026-09-15               | 0930 - 1730 |
| <p>ビジネスモデルが着目される背景や、ビジネスモデルを検討するためのツールを学んだ上で、ワークショップにて、特徴ある企業のビジネスモデルを描き、ビジネスを紐解く力を身につけます。グループ内で意見を出し合い、多様性や網羅性を意識し、自らの新しいビジネス創出のための活用方法を身につけます。</p>   |   |         |   |  |             |
| ULF68R   | <a href="#">カスタマージャーニーマップによる価値提案の描き方</a>  | 50,000円 | 1 | 2026-04-13<br>2026-05-13<br>2026-05-27<br>2026-06-12<br>2026-07-13<br>2026-08-18<br>2026-09-25 | 0930 - 1730 |
| <p>新しいビジネスを創出していくためには、観察によってユーザーの思考・行動を理解し、新しい価値提案に繋げるアプローチが求められます。本コースでは、ユーザーが製品やサービスを利用する一連の体験を「カスタマージャーニーマップ」によって可視化し、ユーザーの思考・行動を分析する方法を学びます。また、製品・サービスの体験を描き直し、価値提案（バリュープロポジション）を創出するプロセスを学びます。</p>        |   |         |   |  |             |

## ITサービスマネジメント

| 研修コード  | コース名   | 受講料<br>(税別) | 日程 | 開催日程                                   | 時間          |
|--|--|-------------|----|--|-------------|
| ULA31R   | <a href="#">ITサービスマネジメント導入によるシステム運用改善</a>        | 108,000円    | 2  | 2026-06-02<br>2026-07-07               | 0930 - 1730 |
| <p>ITサービスマネジメントのアセスメントを活用して現状分析を行い、ITサービスマネジメント手法を現場導入する活動の流れを学習します。現場改善を行う際に、現状の見える化を行い総括的に認識・把握することで、適切な改善計画と遂行を導き出すアプローチについて、講義と演習によって学習します。</p>  |  |             |    |  |             |
| ULA35R   | <a href="#">運用視点でのシステム開発プロジェクトの勘所～運用は上流工程から～</a> | 60,000円     | 1  | 2026-06-08<br>2026-07-15<br>2026-09-09 | 0930 - 1730 |
| <p>運用フェーズはシステム完成後に始まるものではありません。顧客のニーズを満たしたICTサービスを提供するためには、システム開発の上流工程から関わって顧客要件を理解し、開発部隊と連携してサービス要件を取り込み運用設計を推進していくことが重要です。本コースでは、システム開発各工程で行うべき、運用フェーズに関わる管理項目と作業のポイントを、講義と演習によって学習します。演習では、シナリオに基づき運用マネージャーとしてシステム開発プロジェクトに参画し、懸念事項の洗い出しや提案するサービスレベルを検討し、運用要件を定義していきます。[PDU: Ways of Working 6.5]</p> |  |             |    |  |             |

|        |  |          |   |  |             |
|--------|--|----------|---|--|-------------|
| ULA93R | <a href="#">IT運用におけるヒューマンエラー対策～ヒトを知り、ミス防止する～</a>   | 108,000円 | 2 | 2026-04-27<br>2026-08-03<br>2026-08-31                             | 0930 - 1730 |
|        | ヒューマンエラーは、引き起こした「ヒト」だけに要因があるのではなく、取り巻く環境・条件が複雑に絡み合っ<br>て発生するため、それらを適切に把握したうえで対応や対策を考える必要があります。本コースでは、実際のトラ<br>ブルや事故事例からヒューマンエラーとは何か？なぜ起きるのか？などを理解した上で、ヒューマンエラーを起こ<br>しにくくする具体的な対応方法や防止策について講義と演習を通じて、学習します。明日からのIT運用業務に活か<br>せるヒューマンエラーの分析力や対策・対応のコツを学びます。〔PDU：Ways of Working 14〕   |          |   |  |             |
| ULA94R | <a href="#">デジタルビジネス時代のPM・SM入門</a>   | 40,000円  | 1 | 2026-07-06<br>2026-08-07   | 1300 - 1730 |
|        | 先行きが不透明で変化の激しいデジタルビジネス時代においては、プロジェクトの中で短期間でビジネス価値（機<br>能）を先ず提供し、利用される中で市場や、利用部門からのフィードバックを得ながら、いかにタイムリーにニー<br>ズに添えていくかというマネジメントが必要となります。開発、運用、ユーザが常に一体となって推進していく形<br>態のプロジェクトにおいては、従来のウォーターフォール型プロジェクトを前提とした、PM/SMという境目が意識<br>されなくなり、プロジェクトを成功に導くための観点や行動様式も従来型のプロジェクトとは異なるものが求めら<br>れています。本コースではその勘所を、講義とお持ちのご経験などをベースとした意見交換を行うことで、今後の<br>業務におけるヒントとなる新たな気づきを習得していただきます。 |          |   |  |             |
| ULF38R | <a href="#">基礎から学ぶシステム運用管理・実践トレ<br/>ーニング</a>   | 90,000円  | 2 | 2026-05-25<br>2026-06-04<br>2026-06-24<br>2026-08-24<br>2026-09-10 | 0930 - 1730 |
|        | 障害対応、システム変更対応、サービスレベル設定など、システム運用管理における基本作業を正確かつ効率的に<br>行う方法について、講義と演習により学習します。演習では、サービス業のシステム運用管理事例を題材とし、グ<br>ループ討議形式で問題点の洗い出しと改善案の策定を行い、各運用管理項目（インシデント管理、障害管理、変更<br>管理、サービスレベル管理など）の理解を深めます。〔PDU：Ways of Working 14〕  |          |   |  |             |
| ULF51R | <a href="#">システム運用におけるSLAの作成</a>   | 60,000円  | 1 | 2026-05-29<br>2026-08-28   | 0930 - 1730 |
|        | タイムリーに適切なITサービスを提供するために、限られたコストや要員の中でサービス全体をどう運営するか、<br>ユーザーとサービス提供側の間で明確にしておく必要があります。その際に活用できるのがサービスレベルの合意<br>書であるSLAです。本コースでは、SLAの必要性や期待される効果を理解した上で、導入から運用開始までの流れと<br>そのポイント、運用後の見直し方法について学習します。演習では、作成中のSLAについて改善検討したり、SLAに<br>従って測定されたシステム運用管理状況の分析を行うなど、より実践的にSLAについて検討します。〔PDU：Ways of<br>Working 6.5〕  |          |   |  |             |
| ULF52R | <a href="#">システム運用入門～運用起点でITサービス<br/>を考える～</a>   | 50,000円  | 1 | 2026-04-15<br>2026-06-17<br>2026-09-18                             | 0930 - 1730 |
|        |  |          |   |  |             |

## Microsoft Office

| 研修コード  | コース名  | 受講料<br>(税別) | 日<br>程 | 開催日程   | 時間          |
|--------|---|-------------|--------|--|-------------|
| ULF21R | <a href="#">基礎から学ぶ！Excelマクロ機能による業<br/>務の自動化</a>   | 40,000円     | 1      | 2026-04-13<br>2026-05-26<br>2026-07-10<br>2026-09-24 | 0930 - 1700 |
|        | Excelを使用した日常の繰り返し作業を自動化することのできる「マクロ機能」について基礎から学習します。マク<br>ロ記録機能を利用することで、一からプログラムを書くことなく作業を自動化することができます。本コースでは、<br>マクロ記録機能の基本的な使用方法と、様々な活用シーンを想定した演習を通して、日常作業の自動化を実現する<br>ポイントを学習します。また記録したマクロの一部を編集し、作業を自動化する方法も紹介します。※本コースは、<br>Excel VBAを学習するコースではありません。Excel VBAの基礎を学習いただけるコースは、「基礎から学ぶ！Excel<br>VBAによる業務の自動化」になります。 |             |        |  |             |

|   |   |         |   |  |             |
|---|---|---------|---|--|-------------|
| ULF22R  | <a href="#">基礎から学ぶ！Excel VBAによる業務の自動化</a> | 40,000円 | 1 | 2026-05-13<br>2026-06-22<br>2026-08-07<br>2026-09-07<br>2026-09-25 | 0930 - 1700 |
| ExcelVBAを業務で活用するためのプログラミング要素（コレクション、オブジェクト、イベント、プロパティ、メソッド）や基本文法について、ExcelVBAの特徴であるイベント駆動型プログラミングを活用し、講義および実習を通して学習します。 |   |         |   |  |             |

## Web制作・開発

| 研修コード  | コース名   | 受講料<br>(税別) | 日程 | 開催日程   | 時間          |
|--|--|-------------|----|--|-------------|
| ULA14R   | <a href="#">Web技術者のためのREST API開発（JS編）～構築から利用まで～</a>      | 90,000円     | 2  | 2026-09-17   | 0930 - 1700 |
| JavaScriptとNode.js、expressを使用したREST APIの実装方法および、jQueryを使用したREST APIとの連携方法を、説明と実習を通して学習します。REST APIの構築と利用をとおし、Web技術者も、サーバサイドの実装方法について理解を深められます。実習では、Node.jsを使用したWebサーバの起動からWebブラウザへのデータ送信方法までを体験します。また、REST APIから送信されたデータを、クライアント側で実行するJavaScriptで取得する方法も確認します。 |  |             |    |  |             |
| ULA33R   | <a href="#">JavaScript基礎ステップアップAPI編～ストレージ・通信・デバイスの利用</a> | 90,000円     | 2  | 2026-08-27   | 0930 - 1700 |
| データなし  |  |             |    |  |             |
| ULA34R   | <a href="#">体験！初めてのReact.js～SPA（シングルページアプリケーション）開発編～</a> | 50,000円     | 1  | 2026-07-24<br>2026-08-17<br>2026-09-14   | 0930 - 1700 |
| React.jsは近年注目されているユーザーインターフェース構築のためのJavaScriptライブラリです。本コースではReact.jsでWebアプリケーション開発をするための基本を学習します。コンポーネントなどの概念や、JSXといった基本構文を学習しながら、簡単なSPA（シングルページアプリケーション）を実装します。   |  |             |    |  |             |
| ULA99R   | <a href="#">Vue.jsによるSPA（シングルページアプリケーション）開発</a>          | 90,000円     | 2  | 2026-04-27<br>2026-08-24   | 0930 - 1700 |
| 近年のWebアプリケーション開発では、表示速度・パフォーマンスを向上させる「シングルページアプリケーション（SPA）」が注目されています。SPAを作成するうえで、view層（画面）に特化したオープンソースのフレームワーク「Vue.js」が人気を集めています。本コースでは、SPAの概要から、Vue.jsの基本構文についてハンズオンを中心とした講義、および、簡単なSPAを作成する実習によって、明日から使えるVue.jsを学習していただきます。                                  |  |             |    |  |             |
| ULF56R   | <a href="#">HTMLとCSSによるホームページ作成</a>                      | 90,000円     | 2  | 2026-04-20<br>2026-07-08<br>2026-09-07   | 0930 - 1700 |
| HTMLとCSSによるホームページ作成方法について、講義およびテキストエディタを使用した実習によって学習します。基本的なHTMLの記述として、文章の表現、画像の表示、リンクの設定、フォームの作成方法などを修得します。またCSSによってWebページのデザインを設定する方法を修得します。   |  |             |    |  |             |
| ULG01R   | <a href="#">生成AIによるシステム開発体験（UI実装編）</a>                   | 50,000円     | 1  | 2026-05-11<br>2026-06-04<br>2026-07-02<br>2026-07-29<br>2026-08-28<br>2026-09-28 | 1000 - 1600 |
| 生成AIを活用したWeb UI開発を、初心者でも取り組みやすく学ぶコースです。HTML/CSSを意識することなく、日本語でのプロンプトを駆使してコードを生成から修正まで実践します。AIの活用ポイントや注意点を把握し、短時間で動くUIを完成させるスキルを身に付けます。また、高速なUI生成をプロトタイピングに応用することで、新規事業や業務改善の企画段階でもアイデアを素早く形にし、検証サイクルを加速する力を養います。  |  |             |    |  |             |

|  |  |         |   |  |             |
|--|--|---------|---|--|-------------|
| ULG05R   | <a href="#">プログラミング経験者向けJavaScript (クライアントサイド)</a> | 72,000円 | 2 | 2026-04-20<br>2026-05-28<br>2026-06-25<br>2026-08-04<br>2026-09-15 | 0930 - 1700 |
| Webアプリケーションを実装する際に使用するJavaScriptの基本文法及びDOMを操作するためのテクニックを学習します。制御文、関数、イベント処理といったJavaScriptの文法に加え、オブジェクトを使用して、ウィンドウ操作、フォームの入力チェックなどを実装する方法について、説明と実習によって学習します。 |  |         |   |  |             |

## キャリアデザイン

| 研修コード  | コース名  | 受講料<br>(税別) | 日程 | 開催日程                     | 時間          |
|--|---|-------------|----|--------------------------|-------------|
| UAF16R   | <a href="#">20代のためのキャリア・デザイン～自分らしい未来を描く～</a>  | 28,000円     | 1  | 2026-07-09               | 1300 - 1700 |
| 20代の方々の多くが、「私は自分らしいキャリアを築いていけるだろうか?」といった焦りや不安を感じています。自分のキャリアとの向き合い方のコツを知ると、焦る気持ちを前向きな成長意欲へと変えていくことができます。仕事の意味を捉え直すワークや他社で働く同年代の参加者との対話を通じて、視野を広げ、多角的な視点を取り入れ、自分らしいキャリアの展望を描き、未来への一步を踏み出しましょう。【ワーク内容】 ●自己のありたい姿を思い起こす～憧れの人を語る～ ●自己のWILLとCANを洗い出す～経験を振り返る～ ●職務を自分らしく手作りする～ジョブ・クラフティング～ ●自分らしい未来を描く～アクションプランと行動宣言～                        |   |             |    |                          |             |
| UAF17R   | <a href="#">中堅社員のためのキャリア・デザイン～岐路に向けて舵をとる～</a> | 28,000円     | 1  | 2026-07-16               | 1300 - 1700 |
| 仕事、プライベートと共に多くの岐路を迎えることが多いとされる30代。目の前の仕事に向き合っていると、振り返ることや未来を見ることを忘れがちになります。同世代との対話を通じて、仕事や価値観について振り返り、今後起こりうるライフイベントを視野に、ありたい姿をイメージすることで岐路に立つ準備をします。【ワーク内容】 ●自分の強みに目を向ける～ライフラインチャートによる自分らしさの発見～ ●自分の仕事について考える～ジョブ・クラフティング～ ●今後のライフイベントを見据えて未来をイメージする～充足度を表す人生の輪～ ●岐路に立つ準備～アクションプランと行動宣言～   |   |             |    |                          |             |
| UAF18R   | <a href="#">50代のためのキャリア・デザイン～新たな充実を自らつかむ～</a> | 28,000円     | 1  | 2026-07-23               | 1300 - 1700 |
| “人生100年”時代と呼ばれるいま、50代の方が今後のキャリアを考えるためには、これまでの延長線上だけではない働き方・生き方を検討する必要があります。本コースでは、これまでのライフキャリアの豊富な経験を貫く自分らしさに気づき、新たな充実へ向けて行動するためのきっかけをつかみます。【ワーク内容】 ●自己のWILLとCANを洗い出す～経験を振り返る～ ●キャリアの転機に備える～転機を支える4つのS～ ●職務を自分らしく手作りする～ジョブ・クラフティング～ ●新たな充実を自らつかむ～アクションプランと行動宣言～  |   |             |    |                          |             |
| UAF19R   | <a href="#">管理職・リーダーのための「キャリア支援」ワークショップ</a>   | 28,000円     | 1  | 2026-07-28<br>2026-09-15 | 1300 - 1700 |
| 従業員エンゲージメントや定着率の向上、自律的な成長の促進等を目的として、管理職・リーダーによる部下・メンバーへのキャリア支援に期待を寄せる企業が増えています。一方で、管理職・リーダー自身はそのような支援を受けた経験がない等、戸惑っている方が多いのが現状です。本コースでは、管理職・リーダーの立場でできる部下やメンバーへのキャリア支援のさまざまな手段を知り、演習を通じて体験し、受講後のすみやかなキャリア支援につなげます。【コース内容】 ●部下のキャリアを支援する意義 ●1on1でキャリアを支える～WILL・CAN・MUST3つの輪～ ●チームでキャリアを支える～転機を支える4つのS～ ●明日からのキャリアサポートプラン～アクションプランと行動宣言～ |   |             |    |                          |             |

# コンセプトチュアルスキル

| 研修コード   | コース名   | 受講料<br>(税別) | 日程 | 開催日程   | 時間          |
|---|--|-------------|----|--|-------------|
| ULA41R  | <a href="#">業務の生産性を高める！改善のポイント</a>             | 90,000円     | 2  | 2026-04-27<br>2026-06-15<br>2026-07-23<br>2026-08-26               | 0930 - 1730 |
| <p>業務における「改善」の重要性はますます高まっていますが、「どこから改善してよいのか分からない」、「長続きしない」などといった悩みがつきものです。本コースでは、仕事の生産性を着実に高めるために、無駄を見出す着眼点、生産性の考え方、納得性・継続性を高めるポイント、効果的なITツールの使い方、効果測定の尺度となるKPI（Key Performance Indicators）の設定の仕方など、一連の改善活動の進め方を学習します。また、実際の事例に基づいた演習を通じ、自社における改善活動のアクションプランを作成し、実践力を高めます。〔PDU：Business Acumen 14〕</p> |  |             |    |  |             |
| ULF17R  | <a href="#">ビジネスに活かす論理的思考～基本理解とトレーニング～</a>     | 90,000円     | 2  | 2026-04-22<br>2026-05-28<br>2026-06-15<br>2026-08-27               | 0930 - 1730 |
| <p>論理的思考（ロジカル・シンキング）は、議論や文書作成、計画立案など、様々なビジネスシーンで必要となる基本スキルです。その一方で、論理の種類や前提の違いなどにより、論理的な議論でありながらすれ違い、結論が大きく異なる場合もあります。本コースでは、そうした実務上の課題に対して効果的に取り組むために、演繹、帰納、アブダクション（仮説推論）などの代表的な論理の種類と、それらの長所・短所を含む特徴、必要条件と十分条件といった基本概念などについて、講義とトレーニングを通じて学び、ビジネスシーンでの実践力を高めます。〔PDU：Power Skills 14〕</p>              |  |             |    |  |             |
| ULF41R  | <a href="#">クリティカル・シンキングの基礎～仕事の効果性を高めるために～</a> | 90,000円     | 2  | 2026-04-20<br>2026-05-11<br>2026-05-25<br>2026-07-06<br>2026-09-03 | 0930 - 1730 |
| <p>ビジネスにおいて必要不可欠な論理的思考には、一方で思い込みによる論理の飛躍や、誤った前提による錯誤が入り込みやすく、短絡的な原因分析や対策によってせつかくの努力が空回りするような状況は珍しくありません。本コースでは、そうした状況を避け、仕事の効果性を高めるために、論理展開の妥当性を吟味し、正しい質問や原因分析、企画立案につなげる必須スキルであるクリティカル・シンキング（批判的思考）の基本を、講義と演習を通じて学びます。〔PDU：Power Skills 14〕</p>   |  |             |    |  |             |
| ULF42R  | <a href="#">問題解決の基礎技法 ～組織における問題解決の効果的な進め方～</a> | 90,000円     | 2  | 2026-04-27<br>2026-05-21<br>2026-07-01<br>2026-08-24               | 0930 - 1630 |
| <p>あらゆる業種、業務の場面で様々な問題が発生し、その問題解決に向けた取組みが求められています。本コースでは、組織活動として問題解決を進める上で必要となる論理思考の基礎技法を学びます。自らの組織や業務で発生する問題の解決に活用できる実践的スキルを、演習を通じて修得します。〔PDU：Power Skills 12〕</p>  |  |             |    |  |             |
| ULF43R  | <a href="#">信頼されるSEに求められる問題解決スキル</a>           | 108,000円    | 2  | 2026-04-21<br>2026-06-01<br>2026-07-14<br>2026-09-24               | 0930 - 1730 |
| <p>システム開発や運用保守のプロジェクトでは、さまざまなトラブルに対処していく必要があります。本コースでは、プロジェクトマネジメントの手法などをベースに、問題の定義・分類、問題解決プロセスといった項目を学習します。演習では、失敗プロジェクトを基にしたケーススタディを行います。学習内容の定着化と困難な問題に取り組む姿勢を養うことにより、SEとして現場で必要とされる問題解決スキルの向上を図ります。</p>   |  |             |    |  |             |

# サーバ

| 研修コード  | コース名  | 受講料<br>(税別) | 日程 | 開催日程   | 時間          |
|--------|---|-------------|----|--|-------------|
| ULA08R | <a href="#">Windows Serverの基礎</a>   | 90,000円     | 2  | 2026-04-15<br>2026-06-01<br>2026-07-13<br>2026-09-10 | 0930 - 1730 |
|        | Windows Serverの製品の特徴、導入後の基本構成（ネットワーク設定、アカウント設定、セキュリティ設定など）、サービスの導入フロー、OSとサービスの管理（障害対策、監視など）機能について、講義と実習によって学習します。これからWindows Serverを導入 / 管理する方向けのコースです。   |             |    |  |             |
| ULA26R | <a href="#">Windows Serverの応用～Active Directory<br/>～</a>  | 108,000円    | 2  | 2026-05-14<br>2026-07-02<br>2026-08-17<br>2026-09-10 | 0930 - 1700 |
|        | Active Directoryの基本的な仕組み（フォレスト、ドメイン、サイト、クラウド活用など）から、Active Directoryの構築、運用管理（アカウント管理、グループポリシー、バックアップ、移行など）について、講義と実習によって学習します。実習では、Active Directoryの構築やオブジェクトの管理、グループポリシーでの制御からバックアップまで一通りの環境を構築します。  |             |    |  |             |
| ULB85R | <a href="#">UNIX/Linux入門</a>  | 102,000円    | 3  | 2026-04-13<br>2026-06-10<br>2026-07-13<br>2026-09-09 | 0930 - 1630 |
|        | UNIXおよびLinuxシステムの概要、基本的な使用方法（基本コマンド、ファイル操作、ネットワークコマンド、シェルの利用法など）を学習します。   |             |    |  |             |
| ULB86R | <a href="#">シェルの機能とプログラミング～<br/>UNIX/Linuxの効率的使用を目指して～</a>  | 90,000円     | 2  | 2026-06-01<br>2026-08-03<br>2026-09-03               | 0930 - 1700 |
|        | UNIXまたはLinux 環境におけるシェルの機能とシェルスクリプトの作成方法を中心に講義と実習で学習します。講義では、Bourneシェル、Kornシェル、Bashの特徴を理解して、コマンドラインでの操作が便利になるような方法や定型処理を一括で実行できるようにするシェルスクリプトを制御文も含め修得します。また、基本的なsedコマンド、awkコマンドを使用したテキストファイルのデータ加工方法も修得します。実習では、講義で修得した内容を、Linuxサーバを使用して確認できます。 |             |    |  |             |
| ULB87R | <a href="#">Linuxシステムの導入と管理</a>   | 153,000円    | 3  | 2026-06-03<br>2026-06-15<br>2026-08-31               | 0930 - 1700 |
|        | Linuxの概要からインストール、ユーザー登録、ソフトウェアの追加、ファイルシステムの管理、ネットワーク設定について講義と実習で学習します。実習では、RedHat系OSを使用し、1人1台のPCにインストールし、その後、ユーザー登録、ソフトウェアの追加、ファイルシステムの管理、ネットワーク設定を行います。  |             |    |  |             |
| ULF88R | <a href="#">Linuxシステムの運用管理(性能評価&amp;トラブルシューティング編)</a>   | 108,000円    | 2  | 2026-07-23<br>2026-09-14                             | 0930 - 1700 |
|        | Linuxシステムの運用において必要となる性能評価とトラブルシューティングについて、講義と実習によって学習します。性能情報を取得する各種OS標準ツールの利用方法や、トラブルシューティングの基本的な流れを修得できます。  |             |    |  |             |

# システム基盤

| 研修コード  | コース名   | 受講料<br>(税別) | 日程 | 開催日程   | 時間          |
|--|--|-------------|----|--|-------------|
| ULD31R   | <a href="#">システム基盤(ITインフラ)要素技術の基礎</a>            | 40,000円     | 1  | 2026-04-17<br>2026-05-15<br>2026-06-15<br>2026-09-07 | 0930 - 1700 |
| 本コースは、システム基盤の構成要素であるサーバー、ストレージ、ネットワーク、仮想化技術の基礎知識を学習します。  |  |             |    |  |             |
| ULF59R   | <a href="#">実習で学ぶ3層Webシステム入門<br/>(Web/AP/DB)</a> | 90,000円     | 2  | 2026-04-20<br>2026-08-27                             | 0930 - 1700 |
| Webシステムは、3つの役割を持つサーバー（Web/AP/DB）によって構成されます。本コースでは、各サーバーの役割や動作の概要を学習し、実習ではサーバーの起動停止や連携設定を体験します。また、Webシステムを支える周辺技術（名前解決、負荷分散、ファイアウォール、SSL/TLS通信など）の概要も学習し、Webシステムの全体像を把握します。これからWebシステムに関わる仕事に従事される方へ向けた入門コースです。 |  |             |    |  |             |
| ULF60R   | <a href="#">アプリ開発者のための、Dockerで学ぶコンテナ仮想化入門</a>    | 60,000円     | 1  | 2026-04-27<br>2026-08-31                             | 0930 - 1730 |
| Dockerを実習環境として使用し、コンテナ型仮想化技術の基本的な使用方法を体験します。開発/テスト環境の構築方法や、コンテナ型仮想化によりアプリケーション開発やデプロイ、バージョンアップ作業などがどのように変化するかを学習します。初めてコンテナ型仮想化を使用するアプリケーション開発者向けの入門コースです。   |  |             |    |  |             |

# システム開発・運用管理

| 研修コード   | コース名   | 受講料<br>(税別) | 日程 | 開催日程                                   | 時間          |
|---|--|-------------|----|--|-------------|
| ULA29R  | <a href="#">アジャイルから学ぶ 不確実性の高い時代における柔軟な仕事の進め方</a>   | 50,000円     | 1  | 2026-04-09<br>2026-07-21               | 1300 - 1700 |
| 不確実性の高い時代においては、変化に対して柔軟に対応することが求められます。本コースでは、アジャイルの考え方・進め方を用いて、計画を見直ししながら価値を高めていく仕事の進め方をワークショップで体験します。また、メンバーと協力してムリ・ムダを排除する勘所を学習します。   |  |             |    |  |             |
| ULA32R  | <a href="#">DevOps はじめの一步 ~継続的に学習し挑戦する組織を目指して~</a> | 50,000円     | 1  | 2026-07-14<br>2026-09-08               | 0930 - 1700 |
| DXが求められる今、アジャイルを実践しプロダクトの素早い提供を目指す組織が増えています。しかし、アジャイルによりスピーディーに開発するだけでは価値は生まれません。素早く利用者にデリバリーし使ってもらうことで価値は生まれます。そこでそのような組織が取り組まねばならないのがDevOpsです。DevOpsにより、開発されたものを素早くデリバリーし、利用者からのフィードバックを得てカイゼンするサイクルを繰り返し、継続的に学習し新たな挑戦をする組織の文化を作ります。本コースでは、マインドや組織の形、ツールや技術など数多くの要素を含むDevOpsについて概要を説明し、DevOpsに取り組む前にやっておきたい疑問点の解消を行います。 |  |             |    |  |             |
| ULA36R  | <a href="#">業務分析・設計のための業務モデリング実践トレーニング</a>         | 108,000円    | 2  | 2026-06-02<br>2026-07-02<br>2026-07-23 | 0930 - 1700 |
| 複雑化するシステム要求を明確にするために業務の見える化手法を演習中心に学習します。手法では、業務の流れを見える化するプロセスモデル、業務で扱う情報の関連を見える化するデータモデルを扱います。事例業務を基に上記2つのモデルの観点で現状業務の見える化、現状業務の問題抽出と解決策検討、新規業務の見える化まで演習します。最後にプロセスとデータの両モデルの妥当性検証を行います。[PDU : Business Acumen 12]   |  |             |    |  |             |

|        |   |          |   |  |             |
|--------|---|----------|---|--|-------------|
| ULA62R | <a href="#">業務分析設計概説～システム開発における要件定義のまとめ方～</a>   | 90,000円  | 2 | 2026-05-18<br>2026-06-16<br>2026-07-16<br>2026-09-14               | 0930 - 1630 |
|        | <p>情報システム開発における要件定義のうち、業務要件定義を中心に作業手順や主な成果物を講義と演習で学習します。情報システム開発における要件には大きく、経営要件、業務要件、システム要件があります。業務要件を明確に定義するには、その前提となる経営要件を確認したり、後続するシステム要件との関係についても理解しておく必要があります。それぞれの関係や重要性、作業手順、主な成果物などについて学習します。また、次工程で行うシステム設計とのつながりについても学習します。演習では、事例業務について経営要件を把握し、業務要件やシステム要件を定義します。グループでのディスカッションや成果物の作成により、さまざまな考え方や気づきを得ることができます。〔PDU: Business Acumen 12〕</p> |          |   |  |             |
| ULA63R | <a href="#">システム要件定義の基礎</a>   | 90,000円  | 2 | 2026-06-11<br>2026-06-29<br>2026-07-30<br>2026-08-24<br>2026-09-17 | 0930 - 1700 |
|        | <p>情報システム開発におけるシステム要件定義の基本的な作業内容と要求工学の基本について講義と演習で学習します。要求工学の基本を踏まえ、機能と非機能（性能、信頼性など）の両面を考慮する必要があるシステム要件の定義について、その重要性や作業内容、事業要件、業務要件との整合性確認などについて学習します。また、次工程で行うシステム設計とのつながりについても学習します。演習では自身の要件定義作業の振り返りや要件定義に関する情報共有、ディスカッション、および事例業務における各要件定義の整合性確認を行います。〔PDU: Business Acumen 13〕</p>  |          |   |  |             |
| ULA64R | <a href="#">要件定義「超」入門</a>   | 50,000円  | 1 | 2026-04-28<br>2026-09-14   | 0930 - 1700 |
|        | <p>要件定義を初めて実施される方は「いったい何をすればいいの?」「要件定義は重要だと聞くけど、なぜ?」「どのくらい時間がかかるの?」「何をアウトプットすればいいの?」など、多くの疑問をお持ちだと思います。本コースでは、要件定義に関する様々な疑問に対してグループで討議し、講師の解説とすり合わせることで要件定義に対する理解を深めていただきます。〔PDU: Business Acumen 6.5〕</p>  |          |   |  |             |
| ULA65R | <a href="#">事例から学ぶ アジャイル開発のプロジェクトマネジメント</a>   | 70,000円  | 1 | 2026-06-08<br>2026-07-15   | 0930 - 1730 |
|        | <p>本研修では、アジャイル開発プロジェクトを遂行するために必要な、アジャイル開発の特徴的な考え方を理解します。また、富士通が担当したアジャイル開発プロジェクトをモデルとして、プロジェクトマネジメントのポイントを学びます。〔PDU: Ways of Working 7〕</p>   |          |   |  |             |
| ULA66R | <a href="#">アジャイル開発の要求整理術</a>   | 60,000円  | 1 | 2026-07-21<br>2026-08-20   | 0930 - 1700 |
|        | <p>本コースでは、アジャイル開発の要求整理/環境構築フェーズにおける要求の洗い出しとプロダクトバックログやリリース計画の作成について説明します。また、開発開始後に発生するプロダクトバックログとリリース計画の見直しの方法について説明します。</p>  |          |   |  |             |
| ULA69R | <a href="#">オブジェクト指向基礎 ～基本概念とUML～</a>   | 90,000円  | 2 | 2026-04-09<br>2026-07-16   | 0930 - 1630 |
|        | <p>システム化対象を把握するための考え方の1つであるオブジェクト指向について講義と実習により学習します。オブジェクト指向に必要な基本概念（オブジェクト、クラス、カプセル化、情報隠蔽）と、システム開発作業において利用頻度の高いUMLダイアグラム（クラス図、オブジェクト図、シーケンス図、ユースケース図）について修得します。実習では実際にUMLダイアグラムを作成し、オブジェクト指向の考え方について理解を深めます。本コースで使用するUMLはUML2.0に対応しています。</p>  |          |   |  |             |
| ULA70R | <a href="#">Webアプリケーション方式設計</a>   | 126,000円 | 2 | 2026-07-02<br>2026-09-01   | 0930 - 1700 |
|        | <p>Webアプリケーションの機能要件、非機能要件を満たすために特に重要な品質要件（レスポンス、セキュリティ、データ品質、画面操作性、エラーハンドリング）と、それを考慮したアプリケーション方式について、重点的に講義で説明します。演習では、アプリケーション方式を設計することによって、講義内容の理解を深めます。</p>  |          |   |  |             |

|        |  |          |   |  |             |
|--------|--|----------|---|--|-------------|
| ULA95R | <a href="#">ワークショップで学ぶUXデザイン</a>   | 108,000円 | 2 | 2026-07-13<br>2026-08-18<br>2026-09-28   | 0930 - 1700 |
|        | 人間中心設計プロセス（利用の状況の把握と明示、ユーザと組織の要求事項の明示、設計による解決策の作成、要求事項に対する設計の評価）に基づいて、ユーザビリティエンジニアリングの代表的な手法（インタビュー手法、ユーザ分析、プロトタイピング、ユーザビリティテスト）をケーススタディを通して学習します。   |          |   |  |             |
| ULB66R | <a href="#">CI/CD入門 ～アジャイルやDevOpsの実践に向けて～</a>  | 108,000円 | 2 | 2026-06-08<br>2026-08-17<br>2026-09-14   | 0930 - 1700 |
|        | アジャイル開発やDevOpsの実践に欠かせない手法であるCI（Continuous Integration：継続的インテグレーション）とCD（Continuous Delivery：継続的デリバリー）を、短時間で学習する入門コースです。バージョン管理、自動ビルド、自動テスト、プロジェクト管理、デプロイの自動化などの継続的インテグレーションや継続的デリバリーに必要な要素を、スタンダードなOSSで構成された実習環境で体験します。実習では構築済みの環境とサンプルアプリケーションを使用してCI/CDを体験します。CI/CD環境の構築、プロダクションコードやテストコードの書き方は本コースでは取り扱いません。また、ウォータフォールでのCIの活用のためのポイントについては、参考情報としてテキストに記載します。ビジネスやシステムの変化に対応するために、新たにアジャイル開発やDevOpsに取り組もうとする方にお勧めするコースです。 |          |   |  |             |
| ULB83R | <a href="#">プロダクトオーナー入門</a>  | 35,000円  | 1 | 2026-06-17   | 1300 - 1630 |
|        | スクラムの役割の一つであるプロダクトオーナー（PO）は、プロダクトの価値を最大化する重要な役割であり、スクラムをベースとしたアジャイル開発の成功を左右する存在です。いっぽうで、アジャイル開発の現場では、どのようふるまうべきか悩みの多い役割でもあります。本コースでは、POとしてあるべき役割とふるまいを演習を通じた経験によって理解を深めます。   |          |   |  |             |
| ULC70R | <a href="#">テスト駆動開発の基礎</a>   | 50,000円  | 1 | 2026-06-03<br>2026-08-03   | 0930 - 1700 |
|        | 本研修ではテスト駆動開発の基礎を学びます。前半では、テキストに沿ってハンズオン形式でテスト駆動開発を体験します。後半では、ペアプログラミングと組み合わせて、プログラミングの課題に挑戦し、理解を深めます。  |          |   |  |             |
| ULF03R | <a href="#">業務分析・設計のための要件定義技法</a>  | 108,000円 | 2 | 2026-06-04<br>2026-08-31   | 0930 - 1700 |
|        | ユーザー企業の経営に役立つシステムを構築するために、システム開発の上流工程で全体最適な業務要件を導き出す技法を学習します。事例業務を基に、現状業務が抱えている問題点の把握、個別問題点を整理して根本原因の特定、解決目的の検討、対策手段の検討を行い業務要件をまとめる演習を行います。  |          |   |  |             |
| ULF27R | <a href="#">システム開発の基礎</a>  | 50,000円  | 1 | 2026-04-17<br>2026-05-12<br>2026-06-08<br>2026-07-03<br>2026-07-24<br>2026-08-07<br>2026-08-21<br>2026-09-02 | 0930 - 1700 |
|        | 情報システム開発の入門・基礎知識を学びます。情報システムの変遷や目的、代表的な開発手法、開発の全体像および各工程の作業内容などについて、講義と演習により学習します。   |          |   |  |             |
| ULF28R | <a href="#">ユーザーインターフェース設計の基礎</a>  | 50,000円  | 1 | 2026-05-15<br>2026-07-15<br>2026-08-07<br>2026-09-09   | 0930 - 1700 |
|        | わかりやすく使いやすいユーザーインターフェース（UI）を設計するために必要な基礎的な知識や考え方を講義と演習によって学習します。   |          |   |  |             |

|        |  |          |   |  |             |
|--------|--|----------|---|--|-------------|
| ULF29R | <a href="#">プログラム開発におけるレビュー・テスト技術の基礎</a>   | 90,000円  | 2 | 2026-04-27<br>2026-06-17<br>2026-07-14<br>2026-08-19<br>2026-09-14               | 0930 - 1630 |
|        | プログラムの品質を確保するためのレビューとテストの基本的な技術（レビューの進め方、テスト技法）について、講義と演習を通じて学習します。演習はグループ形式でレビューやテスト技法の確認・テスト項目抽出・品質評価などを行い、講義内容の理解を深めます。   |          |   |  |             |
| ULF30R | <a href="#">アプリケーションテスト 実践トレーニング</a>   | 126,000円 | 2 | 2026-07-23<br>2026-08-17<br>2026-08-24<br>2026-09-17                             | 0930 - 1700 |
|        | システムに求められる品質を保証するために、確実で効果的なテストの方法を学習します。結合テスト、総合テストを中心にテスト項目抽出のポイントや妥当性の判断について講義と演習によって学習します。   |          |   |  |             |
| ULF31R | <a href="#">アジャイル開発 はじめの一步</a>   | 70,000円  | 1 | 2026-04-13<br>2026-06-05<br>2026-07-08<br>2026-07-31<br>2026-08-31<br>2026-09-14 | 0930 - 1730 |
|        | アジャイル開発に取り組む前に、押さえておきたい基本的な考え方を説明します。また、アジャイル開発に対するよくある誤解や不安に思われることをピックアップして解説します。   |          |   |  |             |
| ULF45R | <a href="#">RFP作成の基礎 ～何故、そのRFPでは伝わらないのか？～</a>  | 60,000円  | 1 | 2026-05-20<br>2026-06-08<br>2026-08-07   | 0930 - 1700 |
|        | RFPの構成要素となる要求や制約、その必要性や記述粒度を講義で確認します。システム開発プロジェクトを失敗させないために、RFPを作成する際のポイントを理解していきます。   |          |   |  |             |
| ULF46R | <a href="#">これだけは押さえておきたい 要件定義ドキュメント作成演習</a>   | 108,000円 | 2 | 2026-05-25<br>2026-07-14<br>2026-08-24   | 0930 - 1700 |
|        | 要件定義工程の品質向上には、ドキュメントの作成技術が必要になります。要件定義工程のドキュメントは要件をまとめるための書式です。この書式を使って、お客様との合意形成を進める、次工程である設計工程に正確に要件の情報を伝えるといった重要な役割を持っています。要件定義工程で作成するドキュメントの種類、作成目的、用途を演習を交えて学習します。[PDU: Ways of Working 13] |          |   |  |             |
| ULF49R | <a href="#">システム設計 実践トレーニング</a>  | 108,000円 | 2 | 2026-06-29<br>2026-08-17<br>2026-09-10   | 0930 - 1700 |
|        | システム設計の作業やその考え方を演習を通して修得するコースです。演習では、機能とデータの両面での考え方、ポイントの理解を目的に、事例企業の業務を題材とした画面レイアウトのレビュー、論理データモデルの修正などを行います。演習はグループ形式で行います。参加者同士の意見を交換することで、新たな観点に気づくことができます。                                   |          |   |  |             |
| ULF50R | <a href="#">システム設計の基礎</a>  | 50,000円  | 1 | 2026-04-24<br>2026-05-15<br>2026-06-25<br>2026-08-05<br>2026-09-14               | 0930 - 1730 |
|        | システム設計工程での作業内容、作業手順、およびその基本的な考え方について、システム設計技術をもとにした説明によって学習します。  |          |   |  |             |

|  |   |         |   |  |             |
|--|---|---------|---|--|-------------|
| ULF75R   | <a href="#">システム開発におけるユニバーサルデザインの基礎</a>       | 50,000円 | 1 | 2026-07-24<br>2026-08-21<br>2026-09-18 | 0930 - 1700 |
| <p>本コースでは、多様なユーザーが快適に利用できるWebシステムのデザイン原則と考え方について講義と演習をとおして学習します。現代社会は、年齢、性別、文化的背景などの多様性が重要視される時代です。ユニバーサルデザインの理念をWebシステムのユーザーインターフェース設計に取り入れることで、多様性に配慮したユーザーインターフェースを目指します。</p>   |   |         |   |  |             |
| ULF76R   | <a href="#">ゼロからはじめるテスト超入門</a>                | 50,000円 | 1 | 2026-04-15<br>2026-07-27<br>2026-09-09 | 0930 - 1700 |
| <p>DXに取り組む企業は、人々の生活をより良いものへと変革すべく、新しいデジタルサービスやアプリケーションを次々と開発します。これらのソフトウェアの品質を確保するためには、テストができる人材が不可欠です。また、短い周期でソフトウェアをリリースするには、効果的なテスト手法を選択し、不具合の早期発見・修正をする必要があります。本コースでは、システム開発やテスト経験がない方であってもエントリーコースとして品質保証の重要性やテスト抽出の観点について、講義とミニ演習をとおしてゼロから学習します。</p> |   |         |   |  |             |
| ULF77R   | <a href="#">アジャイルから学ぶ パフォーマンスを発揮するチームの作り方</a> | 50,000円 | 1 | 2026-06-16<br>2026-08-20               | 1000 - 1600 |
| <p>流動性・不確実性の高いビジネス市場状況において、継続的に成果を生むためには、柔軟かつスピーディに対応するチームが必要とされます。一方で、メンバー間での認識の齟齬・自律性の不足などにより、パフォーマンスが発揮できていないチームも散見されます。私たちが協働して目的を達成するためには、チーム作りが大切です。本コースでは、アジャイルにおけるプラクティスを学び、パフォーマンスを発揮するチームの作り方について理解を深めます。</p>                                    |   |         |   |  |             |

## ソフトウェア開発技術

| 研修コード  | コース名   | 受講料<br>(税別) | 日程 | 開催日程                                   | 時間          |
|--|--|-------------|----|--|-------------|
| ULA12R   | <a href="#">Git入門</a>                              | 50,000円     | 1  | 2026-04-22<br>2026-07-27<br>2026-09-30 | 0930 - 1730 |
| <p>本コースではバージョン管理の必要性やバージョン管理システムのしくみを講義によって学習します。さらに、分散型バージョン管理システムの一つであるGitの基本的な操作を実際に操作しながら確認します。Gitの操作については、コマンド操作とGUI操作の両方を行います。さらに、GitLabを使用したプロジェクト管理についても操作を通して確認します。</p>   |  |             |    |  |             |
| ULA13R   | <a href="#">フロントエンドエンジニア向けWebアプリ開発技法 要件定義～テスト</a>  | 90,000円     | 2  | 2026-08-17<br>2026-09-29               | 0930 - 1700 |
| <p>Webアプリケーションのフロントエンドにおけるお客様要件を満たすためのデザイン設計の手法について学習します。実習では、ペルソナの設定や各種設計書の作成と、設計書に基づいた実装やテストを行います。</p>   |  |             |    |  |             |
| ULA15R   | <a href="#">API入門～サービス連携の実現に向けて～</a>               | 50,000円     | 1  | 2026-06-10<br>2026-07-16               | 0930 - 1700 |
| <p>近年、各社が自社のビジネス機能の一部をWebを通じてさまざまなサービスを利用・提供する仕組みであるAPI（Web API）で提供することが増えています。他社が提供するAPIを利用することにより、自社システムが他社サービスと連携し、より幅広いシステムやサービスを開発することが可能になります。自社が新サービスを提供する際には、APIもあわせて提供することが求められてきています。本コースではAPIの基礎として、提供されているAPIを利用する方法とAPIを提供する側の視点を講義実習を通して学習します。APIの利用側・提供側、両方の観点を学ぶことでAPIの全体像を把握できます。</p> |  |             |    |  |             |
| ULA68R   | <a href="#">情報セキュリティ対策実践 Webアプリ開発におけるセキュリティ入門編</a> | 50,000円     | 1  | 2026-06-24<br>2026-09-01               | 0930 - 1700 |
| <p>Webアプリケーションに対する代表的な攻撃手法とその対策について説明します。セキュアなWebアプリケーションを開発するために必要なセキュリティの考え方や知識、技術について体系的に学習できます。</p>  |  |             |    |  |             |

|  |  |         |   |  |             |
|--|--|---------|---|--|-------------|
| ULC87R   | <a href="#">体験操作で学ぶ、Webアプリケーションの仕組み</a>            | 72,000円 | 2 | 2026-04-16<br>2026-07-13<br>2026-08-24   | 0930 - 1700 |
| Webアプリケーションを構成する技術とその仕組みについて、講義と実機操作によって学習します。Webアプリケーションを構成するサーバーの種類と役割、クライアントサイド技術およびサーバーサイド技術の特徴や動作の仕組みについて学習します。また、これからのWebアプリケーション開発に必要なクラウドとAPIについても取り扱います。  |  |         |   |  |             |
| ULF99R   | <a href="#">生成AIによるシステム開発体験（アプリケーション実装・単体テスト編）</a> | 50,000円 | 1 | 2026-05-11<br>2026-06-08<br>2026-07-06<br>2026-07-31<br>2026-08-03<br>2026-08-31<br>2026-09-09<br>2026-09-30 | 1000 - 1600 |
| DXの実現など様々な目的でシステム開発の加速が求められる中で、開発効率の劇的な向上をもたらす技術として生成AIが注目されています。本コースでは、実装および単体テスト工程における生成AIの活用方法の基本を学びます。主要な生成AIツールの基本操作（コード生成、コード補完、ドキュメンテーション、リファクタリングなど）と、実装・テスト工程に適用するにあたってのポイントや注意点などを、実機を使用した実習を通して習得します。生成AI時代にスタンダードとなる手法を習得したい方、開発効率を向上させたい方におすすめです。 |  |         |   |  |             |

## データベース

| 研修コード  | コース名   | 受講料<br>(税別) | 日程 | 開催日程                                   | 時間          |
|--|--|-------------|----|--|-------------|
| UBG15R   | <a href="#">OracleDatabase : SQL基礎 I</a>       | 260,000円    | 3  | 2026-09-14                             | 0930 - 1730 |
| OracleDatabaseを操作・管理していくうえで必要となるSQLについて講義と実習を通して学習します。実習では、実際にOracleDatabaseを操作しながら、データの検索、挿入、更新、削除などリレーショナルデータベースを操作するSQLの書き方、また表などのスキーマ・オブジェクトの作成や管理を行います。 ※ご受講に際し、Oracle.comへのユーザー登録が必要となりますので未登録の方はオラクル社サイトにてご確認、登録ください。< <a href="https://www.oracle.com/jp/education/guide/newuser-172640-ja.html">https://www.oracle.com/jp/education/guide/newuser-172640-ja.html</a> >（登録はメールアドレスとなりますが、ご所属企業アドレスでの登録についてはメーリングリストではなく個人アドレスにてご登録ください。）                                       |  |             |    |  |             |
| UBG16R   | <a href="#">OracleDatabase : PL/SQL基礎</a>      | 200,000円    | 2  | 2026-05-11<br>2026-07-09<br>2026-09-17 | 0930 - 1730 |
| SQLの拡張言語であるPL/SQLの基礎を学習します。無名PL/SQLブロックの作成方法や、ストアド・プロシージャ、ファンクションの機能について講義と実習により修得します。実習では、プログラムを作成しながらPL/SQL作成時の基本文法（PL/SQL変数宣言、明示カーソル、コンポジット・データ型、エラー処理、ループ、制御構造）を学習します。 ※ご受講に際し、Oracle.comへのユーザー登録が必要となりますので未登録の方はオラクル社サイトにてご確認、登録ください。< <a href="https://www.oracle.com/jp/education/guide/newuser-172640-ja.html">https://www.oracle.com/jp/education/guide/newuser-172640-ja.html</a> >（登録はメールアドレスとなりますが、ご所属企業アドレスでの登録についてはメーリングリストではなく個人アドレスにてご登録ください。）                         |  |             |    |  |             |
| UBG17R   | <a href="#">OracleDatabase : PL/SQLプログラム開発</a> | 260,000円    | 3  | 2026-06-15<br>2026-09-28               | 0930 - 1730 |
| PL/SQLによるストアド・プロシージャ、ファンクション、トリガ、およびパッケージの開発・運用・管理方法およびPL/SQLサブプログラム間の依存関係、動的SQLによるコーディング・フレキシビリティの向上方法を講義と実習により学習します。実習では、プロシージャ、ファンクションの作成、動的SQLによるコーディング・フレキシビリティの体験、およびトリガによるビジネス・ルールの実装を行います。 ※ご受講に際し、Oracle.comへのユーザー登録が必要となりますので未登録の方はオラクル社サイトにてご確認、登録ください。< <a href="https://www.oracle.com/jp/education/guide/newuser-172640-ja.html">https://www.oracle.com/jp/education/guide/newuser-172640-ja.html</a> >（登録はメールアドレスとなりますが、ご所属企業アドレスでの登録についてはメーリングリストではなく個人アドレスにてご登録ください。） |  |             |    |  |             |

|   |  |          |   |  |             |
|---|--|----------|---|--|-------------|
| UBG18R  | <a href="#">OracleDatabase : 管理クイック・スタート</a> | 200,000円 | 2 | 2026-05-14<br>2026-06-22<br>2026-07-06 | 0930 - 1730 |
| データベース管理に必要な基礎知識（インストールや環境構築から、バックアップ・リカバリまで）を学習します。Oracle Databaseのインストールからバックアップ・リカバリ、およびパフォーマンス監視まで、データベースの運用を継続するために必要なOracle Databaseの基本的な管理タスクの実行方法を学習します。これからOracleデータベース管理者を目指す方のための2日間速習コースです。（演習環境はOracle Database 19cを使用します） ※ご受講に際し、Oracle.comへのユーザー登録が必要となりますので未登録の方はオラクル社サイトにてご確認、登録ください。< <a href="https://www.oracle.com/jp/education/guide/newuser-172640-ja.html">https://www.oracle.com/jp/education/guide/newuser-172640-ja.html</a> >（登録はメールアドレスとなりますが、ご所属企業アドレスでの登録についてはメーリングリストではなく個人アドレスにてご登録ください。） |  |          |   |  |             |
| UBG19R  | <a href="#">OracleDatabase : 管理ネクスト・ステップ</a> | 260,000円 | 3 | 2026-06-01                             | 0930 - 1730 |
| Oracle Database のアーキテクチャへのより深い理解と、より効率的なデータベース管理方法について学習します。データベース管理に必要な基礎知識に加えて、構築したデータベースを適切に管理できるように、パフォーマンスの監視やユーザー管理、およびバックアップ・リカバリ等について講義と実習を通じて学習します。（演習環境はOracle Database 19cを使用します） ※ご受講に際し、Oracle.comへのユーザー登録が必要となりますので未登録の方はオラクル社サイトにてご確認、登録ください。< <a href="https://www.oracle.com/jp/education/guide/newuser-172640-ja.html">https://www.oracle.com/jp/education/guide/newuser-172640-ja.html</a> >（登録はメールアドレスとなりますが、ご所属企業アドレスでの登録についてはメーリングリストではなく個人アドレスにてご登録ください。）  |  |          |   |  |             |
| ULA16R  | <a href="#">SQL Server データベース管理 応用編</a>      | 126,000円 | 2 | 2026-06-04<br>2026-07-16<br>2026-08-27 | 0930 - 1730 |
| SQL Server を用いたシステムを構築・管理するうえで必要となる知識を学習します。インスタンスを考慮したインストールや、インデックス作成時のポイントやメンテナンス方法、カラムストアインデックス、インメモリOLTPの基本的な使い方、性能やイベントなどの監視、AlwaysON可用性グループなどの冗長化構成を講義と実習を通じて学習します。  |  |          |   |  |             |
| ULA20R  | <a href="#">データベース性能分析</a>                   | 60,000円  | 1 | 2026-06-03<br>2026-07-24<br>2026-09-29 | 0930 - 1700 |
| データベースサーバーの性能分析の方法と対処方法について、製品依存しない一般的な知識を講義と実習を通して学習します。   |  |          |   |  |             |
| ULB01R  | <a href="#">Symfowareデータベース構造と定義</a>         | 80,000円  | 2 | 2026-05-12<br>2026-08-05               | 0930 - 1700 |
| Symfoware Serverの構造および構築時の基本となる手順を、講義と実習によって学習します。  |  |          |   |  |             |
| ULB02R  | <a href="#">Symfowareデータベース運用管理</a>          | 86,400円  | 2 | 2026-07-06<br>2026-09-15               | 0930 - 1700 |
| バックアップ・リカバリや領域管理など、Symfoware データベース運用について、講義と実習によって学習します。   |  |          |   |  |             |
| ULB08R  | <a href="#">SQL Server データベース管理 基礎編</a>      | 108,000円 | 2 | 2026-05-21<br>2026-07-27<br>2026-09-28 | 0930 - 1700 |
| SQL Serverを扱う際に必要となる基本知識（製品体系や基本機能）や操作を実習を通じて学習します。実習では、SQL ServerのManagement Studioを使い、データベースやテーブルの作成、権限などのセキュリティ設定、基本的なインデックスの作成、バックアップの取得と復元の実習も行います。  |  |          |   |  |             |

|   |                                      |          |   |  |             |
|---|--------------------------------------|----------|---|--|-------------|
| ULB97R  | <a href="#">データベース設計（基礎編）</a>        | 90,000円  | 2 | 2026-04-13<br>2026-05-21<br>2026-06-01<br>2026-07-16<br>2026-08-17<br>2026-08-24<br>2026-09-10   | 0930 - 1700 |
| データベース設計に必要な知識・手法を、講義と演習によって学習します。前半では、要素技術としてER図の書き方、正規化の概念を学び、後半は、概念設計から物理設計までの個々のタスクを机上演習を通して学びます。   |                                      |          |   |  |             |
| ULF35R  | <a href="#">データベース基礎</a>             | 72,000円  | 2 | 2026-04-06<br>2026-04-20<br>2026-05-11<br>2026-06-04<br>2026-06-11<br>2026-06-25<br>2026-07-09<br>2026-08-03<br>2026-09-17<br>2026-09-29 | 0930 - 1700 |
| 製品に特化しないデータベースの特徴やデータベース管理システムの機能など、データベース全般の基本知識とリレーショナルデータベースの操作言語であるSQLの基本文法を学習します。実習では、実際にSQLを使用し、表の作成から、表の操作（データの検索、追加、更新、削除）、表の削除までの一連の操作を行います。講義で学んだSQLの文法を実習で確認することで、リレーショナルデータベースの基本的な操作ができることを目的としています。 |                                      |          |   |  |             |
| ULF84R  | <a href="#">PostgreSQLパフォーマンス診断</a>  | 70,000円  | 1 | 2026-05-27<br>2026-06-29<br>2026-07-29<br>2026-09-09   | 0930 - 1700 |
| PostgreSQL運用に必要な知識である、データベース状態の把握、ボトルネックの特定などを、パフォーマンスが低下している状態を調査し、PostgreSQLが持つ機能である実行計画、アクセス統計情報ビューなどを使い確認する方法を学習します。パフォーマンス診断の範囲として、SQL、メモリ領域、インデックス、およびバキューム処理を対象としています。                                     |                                      |          |   |  |             |
| ULF96R  | <a href="#">PostgreSQL導入トレーニング</a>   | 100,000円 | 2 | 2026-04-23<br>2026-08-24   | 0930 - 1700 |
| これからPostgreSQLを使ったシステム構築を行う開発者/管理者の方を対象として、PostgreSQLのインストール、設定、基本的な使い方について、実習を交えながら学習します。※OSS-DB Silver 対応   |                                      |          |   |  |             |
| ULF97R  | <a href="#">PostgreSQL運用管理トレーニング</a> | 180,000円 | 2 | 2026-05-14<br>2026-06-11   | 0930 - 1700 |
| データベース管理とパフォーマンスチューニングに必要な技術と知識を学習し、実習を行います。※OSS-DB Gold 対応   |                                      |          |   |  |             |

## データ利活用

| 研修コード   | コース名                          | 受講料<br>(税別) | 日程 | 開催日程                                   | 時間          |
|---|-------------------------------|-------------|----|--|-------------|
| ULA24R  | <a href="#">Excelで学ぶ統計学入門</a> | 50,000円     | 1  | 2026-04-08<br>2026-06-10<br>2026-09-30 | 0930 - 1700 |
| 企業や組織は、業務データを大量に保有しています。今までは管理しきれないため見過ごされてきたデータ群を記録・保管して即座に解析することで、ビジネスや社会に有用な知見を得て、これまでにないような新たな仕組みやシステムを産み出す可能性が高まります。本研修では、データ活用の礎となる統計学の手法を講義から理解し、数値の捉え方を業務データに基づいて学習します。 |                               |             |    |  |             |

|        |   |          |   |  |             |
|--------|---|----------|---|--|-------------|
| ULA37R | <a href="#">データドリブン思考ワークショップ</a>  | 50,000円  | 1 | 2026-05-21<br>2026-07-30                             | 0930 - 1700 |
|        | データドリブンでの業務改革が必要とされてきている中で、既存業務の中でデータ活用のポイントを学習します。データドリブンで業務を改善していくうえで、注目すべきは意思決定プロセスの課題となります。本コースではデータドリブンで業務を見直す上での思考フレームをもとに、データ活用の入り口を理解します。                                     |          |   |  |             |
| ULA38R | <a href="#">ビジネスユーザーのためのデータサイエンス実践ワークショップ</a>   | 60,000円  | 1 | 2026-06-09<br>2026-08-03<br>2026-09-10               | 0930 - 1700 |
|        | 本コースでは、さまざまなデータをビジネスに活用するための「データサイエンス」についてワークショップ形式で学習します。業務課題をテーマに分析を実践することで“データ分析”のスキルを鍛えるとともに、分析結果をどのように解釈しアクションや提言に繋げていくべきかといった“データ利活用”の実践スキルを習得します。                              |          |   |  |             |
| ULA42R | <a href="#">Pythonによるディープラーニング入門～画像認識編～</a>   | 126,000円 | 2 | 2026-05-13<br>2026-07-16                             | 0930 - 1700 |
|        | ディープラーニング技術の登場により、画像認識の性能が飛躍的に向上し、様々な分野で活用されています。本コースでは、ディープラーニングによる画像分類を中心に、代表的なディープラーニングフレームワークであるPyTorchを使用した実装方法について、講義および実習をとおして学習します。   |          |   |  |             |
| ULB37R | <a href="#">Pythonによるデータアナリティクス ～Step2 機械学習基礎編(分類・回帰)～</a>  | 108,000円 | 2 | 2026-05-26<br>2026-07-30                             | 0930 - 1630 |
|        | Pythonの代表的な機械学習ライブラリ「scikit-learn」などを使った機械学習の全体像を、講義・演習により学習します。はじめて機械学習を適用する方が知っておくべきこと（分類、回帰、交差検証、パラメーター調整など）を学習します。Pythonを使ってはじめて機械学習を適用される方向けのコースです。                              |          |   |  |             |
| ULB79R | <a href="#">体験！ディープラーニング</a>  | 50,000円  | 1 | 2026-06-24<br>2026-09-28                             | 0930 - 1630 |
|        | ディープラーニングの基本的な概念である、ニューラルネットワークの構造とニューラルネットワークの中を情報が伝播していく仕組みを学習します。ハンズオンでは、ディープラーニングの代表的な活用分野である画像分類をとおして、分類精度を向上させていくプロセスを体験します。  |          |   |  |             |
| ULB90R | <a href="#">Pythonによるデータアナリティクス ～Step1 可視化・解釈編～</a>   | 50,000円  | 1 | 2026-05-22<br>2026-07-15<br>2026-08-26<br>2026-09-14 | 0930 - 1730 |
|        | 近年、Pythonはデータサイエンティストの中で、標準的なデータ分析の手段として活用されています。本コースでは、データの表操作や可視化を中心に、Pythonのデータ分析ライブラリである「pandas」「Matplotlib」などを使ったデータ分析の基礎を講義・演習をとおして学習します。今後Pythonを使った機械学習手法を習得したい方にとっての入門コースです。 |          |   |  |             |
| ULB92R | <a href="#">Pythonによるデータアナリティクス ～Step3 機械学習応用編(データ加工)～</a>  | 126,000円 | 2 | 2026-06-03<br>2026-09-17                             | 0930 - 1730 |
|        | データ分析作業の8割を占めるといわれている「前処理」について学習します。データ分析の精度は「前処理」で決まると言われるほど、分析結果に大きな影響を与えます。本コースではPythonを使い、構造化データの前処理を中心に学習します。  |          |   |  |             |
| ULD83R | <a href="#">ExcelユーザーのためのTableau入門</a>  | 60,000円  | 1 | 2026-04-22<br>2026-09-02                             | 0930 - 1730 |
|        | Tableau はExcelを使う時の感覚や思考パターンで使い始めると、意外な部分で躓き習得に時間がかかることがあります。本講座ではTableau Desktopの基本的な使い方をExcelユーザーの視点でハンズオン形式で紹介していきます。また講座内ではExcelとTableauの利用シーンの違いを具体例を呈示しながら説明いたします。              |          |   |  |             |
| ULF09R | <a href="#">AIプロジェクトの進め方～企画から運用の勘所～</a>   | 70,000円  | 1 | 2026-07-01<br>2026-08-05<br>2026-09-03               | 0930 - 1700 |
|        | 機械学習をはじめとする人工知能を活用したシステムやサービスが注目される中、AIならではのプロジェクトの進め方が必要とされています。本コースではAIプロジェクトの全体像や必要なリソース、各フェーズにおけるAIプロジェクトならではの注意点やポイントについて講義と演習をとおして学習します。  |          |   |  |             |

|  |  |          |   |  |             |
|--|--|----------|---|--|-------------|
| ULF12R   | <a href="#">データサイエンス入門～データ活用の観点と代表的な分析手法～</a>              | 108,000円 | 2 | 2026-04-07<br>2026-06-08<br>2026-07-22<br>2026-08-17<br>2026-09-24 | 0930 - 1730 |
| 本コースでは、さまざまなデータをビジネスに活用するための方法論「データサイエンス」について学習します。データ利活用人材の共通認識としての分析知識・スキルを実機操作を交えて身に付けます。加えて、ビジネスに活用する観点をケーススタディを基に学習します。AIを含むデータ利活用人材にとってベースとなる知識・スキルを2日間で習得できます。  |  |          |   |  |             |
| ULF62R   | <a href="#">Tableau応用機能 計算とデータ整形編</a>                      | 70,000円  | 1 | 2026-06-02<br>2026-09-01   | 0930 - 1730 |
| Tableau Desktop の機能を使用したデータの整形、複数のデータ ソースを組み合わせた分析、さらに LOD計算やセットおよびパラメーターとアクションの組み合わせといった、より高度な知識やテクニックを習得します。実際に Tableau Desktop を操作する演習を交えながら、効率的に知識とスキルを身につけます。   |  |          |   |  |             |
| ULF63R   | <a href="#">Tableau応用機能 ビジュアライズ編</a>                       | 70,000円  | 1 | 2026-07-03   | 0930 - 1730 |
| グラフの種類を選び方から各グラフを作る際の留意点を Tableau の機能で習得します。また Tableau を使った様々なビジュアライゼーションの作り方や、見やすく使いやすいダッシュボードを作るためのポイントやテクニックを習得します。   |  |          |   |  |             |
| ULF72R   | <a href="#">GPTを活用したAIチャットボット構築入門</a>                      | 53,000円  | 1 | 2026-04-17<br>2026-06-18<br>2026-07-10<br>2026-09-14               | 0930 - 1730 |
| この講座はPythonプログラミングにより独自のGPTチャットボットを作るための技術講座です。今や生成AI、特にChatGPTは仕事や生活にも浸透していますが、リアルタイムな気象情報や社内Q&Aのような閉じた内容に対応するには、機能拡張が必要です。本コースは、そのような問い合わせに対応するチャットボットに必要なLlamaIndex、Function callingなどの機能を、実践的な演習を交えながら学べます。また演習では穴埋めすれば実行できるサンプルコードを用意していますので、プログラミング経験の浅い方も受講できます。GPTの基本と使い方を理解し、フリー演習では自分の作りたいチャットボットを楽しみながら作成します。受講後は、独自のGPTチャットボットが作れるようになりますので、業務を含めいろいろなシーンでご活用ください。 |  |          |   |  |             |
| ULF92R   | <a href="#">Azure OpenAI Service を使用した生成AIアプリケーション構築入門</a> | 70,000円  | 1 | 2026-06-03<br>2026-09-09   | 0930 - 1700 |
| AI技術は企業にとって重要な戦略技術となっており、ChatGPTの登場は新たなAIブームを引き起こしています。Azure OpenAI ServiceはAzureのセキュア環境上でOpenAI社が提供する高性能なAIを利用することができるサービスです。本コースでは、Azure OpenAI Service を使った、基本的な生成 AI アプリケーションを実装する方法や検索拡張機能（RAG）を実装する方法を学習します。   |  |          |   |  |             |
| ULF95R   | <a href="#">LangChainによるAIチャットボット構築 ～社内ナレッジの活用～</a>        | 74,000円  | 1 | 2026-05-12<br>2026-07-16<br>2026-09-30                             | 0930 - 1730 |
| ULG02R   | <a href="#">ビジネスパーソンのための生成AI活用術～営業編～</a>                   | 28,000円  | 1 | 2026-06-10<br>2026-07-29   | 1300 - 1730 |
| 生成AIの業務活用はいまやビジネスパーソンにとって必須のスキルとなりつつあり、営業職も例外ではありません。顧客分析、提案書の作成など、日常の営業業務に生成AIを取り入れることで、業務の効率化はもちろん、提案の質向上も期待できます。本研修では、営業活動で役立つ様々な生成AIの活用法をユースケースで学び、自業務で「いつ・どのように」活用するかというアイデアを発想することで、現場で即活かせるスキルを習得します。   |  |          |   |  |             |

# ネットワーク

| 研修コード   | コース名  | 受講料<br>(税別) | 日程 | 開催日程   | 時間          |
|---|---|-------------|----|--|-------------|
| ULA17R  | <a href="#">ネットワークの基礎ステップアップ運用編<br/>～通信解析&amp;ログ監視～</a> | 72,000円     | 2  | 2026-05-20<br>2026-07-09<br>2026-08-18   | 0930 - 1730 |
| 業務のデジタル化が進むにつれ、ネットワークに流れるデータ量が増加し複雑化する中、安定した業務ネットワークを維持するための運用知識が重要となっています。本コースでは、ベンダに依存しない代表的な通信の仕組みやログの見方など、運用に必要な基礎知識を講義と実習を通して体系的に学習します。                                    |   |             |    |  |             |
| ULA79R  | <a href="#">無線LANのトラブル防止とトラブルシューティング</a>                | 60,000円     | 1  | 2026-05-11<br>2026-09-30   | 0930 - 1700 |
| 十分な品質を確保するために欠かせない無線LANのトラブル対策について学習します。事例をもとに、トラブルを未然に防ぐ方法と、万が一トラブルが発生した際のトラブルシューティング方法を学習します。   |   |             |    |  |             |
| ULA80R  | <a href="#">LAN/WANの設計演習・実践トレーニング</a>                   | 90,000円     | 2  | 2026-06-17<br>2026-09-24   | 0930 - 1700 |
| ネットワーク設計に必要な要素技術と設計プロセスを学習し、演習によって設計を体験します。ユーザー要件に基づく物理設計・論理設計の演習を行うことで、より実践的なスキルを習得します。  |   |             |    |  |             |
| ULA81R  | <a href="#">ネットワークの基礎ステップアップ環境編<br/>～構成要素&amp;技術動向～</a> | 50,000円     | 1  | 2026-05-29<br>2026-06-24<br>2026-08-28   | 0930 - 1730 |
| 昨今、IoT技術の拡大やITサービスの多様化に伴い、複雑化した要件を実現するための要素技術を理解しておくことが求められています。本コースでは、一般的なネットワーク技術動向を把握しながら、主要な要件を基に、企業ネットワーク環境を構成する上で必要な要素技術（リンクアグリゲーション、VRRP、VLAN、無線LAN、モバイルネットワークなど）を学習します。 |   |             |    |  |             |
| ULF36R  | <a href="#">ネットワークの基礎</a>                               | 72,000円     | 2  | 2026-04-15<br>2026-04-27<br>2026-05-18<br>2026-08-20<br>2026-08-31<br>2026-09-10 | 0930 - 1730 |
| ネットワーク（LAN、WAN、インターネット）の基礎的な用語や技術を体系立てて幅広く学習します。TCP/IPやLANについて学習した内容を実機演習で確認します。  |   |             |    |  |             |
| ULF61R  | <a href="#">体験！SDN～概要からAPIによるネットワーク機器の管理まで～</a>         | 50,000円     | 1  | 2026-05-20<br>2026-08-20   | 0930 - 1700 |
| SDN（Software Defined Networking）やネットワーク仮想化の基礎的な用語や技術を学習します。進化するSDNの分野において新たに登場している技術の概要や、各要素技術がどのような目的でどこで使われているのか、実際の操作体験も交えながら学びます。   |   |             |    |  |             |
| ULF66R  | <a href="#">IPCOM EX/EX2シリーズによるネットワーク設計/構築実践</a>        | 108,000円    | 2  | 2026-06-08<br>2026-08-24   | 0930 - 1700 |
| IPCOM EX/EX2シリーズの提供機能であるファイアウォール/サーバ負荷分散機能の設計/導入作業について学習します。  |   |             |    |  |             |
| ULF89R  | <a href="#">ネットワークの構築実習・実践トレーニング</a>                    | 108,000円    | 2  | 2026-05-18<br>2026-09-14   | 0930 - 1730 |
| 企業ネットワークの構築に必要な要件や技術について実機演習を中心に学習します。ネットワーク構成図をもとにルーター・レイヤー3スイッチ・レイヤー2スイッチの設定を行います。  |   |             |    |  |             |

# ヒューマンスキル

| 研修コード  | コース名   | 受講料<br>(税別) | 日程 | 開催日程   | 時間          |
|--------|--|-------------|----|--|-------------|
| ULA22R | <a href="#">オンライン1on1のためのコーチング</a>   | 50,000円     | 1  | 2026-04-22<br>2026-07-22<br>2026-09-03   | 1000 - 1600 |
| ULA28R | <a href="#">職場での効果的な対人関係の構築 -人の行動スタイルの見分け方-</a>  | 60,000円     | 1  | 2026-06-18<br>2026-09-30   | 0930 - 1730 |
|        | なぜこの人はこんな行動をするのだろうかと感じたことは誰にでもあると思います。行動心理学(DISC理論)を基に、人それぞれが持つ行動特性を見分け、重要な人や苦手なタイプの人とも円滑な関係を効果的に築いていく基本スキルを身に付けます。自分自身と相手のタイプの両方を知ること、職場で発生しうるコミュニケーションの場面でのロールプレイを通して学習します。【注意】お申し込み時に個別のe-mailアドレスをお知らせください。オンラインの診断ツールのユーザー登録時(メーリングリストは使えません)に必要です。 |             |    |  |             |
| ULA50R | <a href="#">相手に伝わる!プレゼンの極意</a>   | 108,000円    | 2  | 2026-04-20<br>2026-06-22<br>2026-07-09<br>2026-09-02                             | 0930 - 1730 |
|        | 聞き手を意識したプレゼンテーションのポイントについて演習を通じて学習します。演習では、事前準備のプロセス(シナリオ設計、資料作成、リハーサル)も重視し、プレゼンテーションの実演を行います。さらに、受講者間でのフィードバックを行うことにより、自身の強み弱みを明らかにし、プレゼンテーションの改善に役立てることができます。  |             |    |  |             |
| ULF05R | <a href="#">アサーティブ・コミュニケーション</a>   | 50,000円     | 1  | 2026-04-17<br>2026-06-16<br>2026-09-15   | 0930 - 1730 |
|        | 言いにくいことを上手く伝えるために、アサーティブ・コミュニケーションのスキルを学習します。ビジネスシーンにおいて、大切な相手の要望に応えられないときや自己主張をしなければならないときなどに、アサーティブ・コミュニケーションはきわめて効果的なスキルです。本コースでは、相手も自分も大切に、状況に応じて自分を適切に表現するための方法を、講義と事例・ロールプレイ演習を通して修得します。   |             |    |  |             |
| ULF06R | <a href="#">アサーティブ・コミュニケーション実践</a>   | 60,000円     | 1  | 2026-05-27<br>2026-09-30   | 0930 - 1730 |
|        | 個人が業務に対する思いや考えを一人で抱えこむことは、本人ばかりでなく、組織にとっても不利益につながる可能性があります。本コースでは業務上の目的を達成するために、相手の立場や目的を尊重した上で、自分の思いや要求を伝える戦略的なアプローチを、ロールプレイを通して学びます。[PDU: Power Skills 7]  |             |    |  |             |
| ULF07R | <a href="#">聴くトレーニング~信頼関係を築くために~</a>   | 50,000円     | 1  | 2026-05-29<br>2026-07-17<br>2026-09-02   | 1000 - 1600 |
|        | 誰でも日常のコミュニケーションの中で相手の話を「聞く」ことをしていますが、相手のために「聴く」ことはなかなかできていないものです。本コースでは、聴くための基本スキルを学習し、ロールプレイ演習を通じて、ご自身の日常における相手との信頼関係構築に役立つコツをつかみます。  |             |    |  |             |
| ULF13R | <a href="#">プロジェクトリーダーに求められるモチベーションマネジメントスキル</a>   | 60,000円     | 1  | 2026-04-15<br>2026-06-01<br>2026-06-18<br>2026-07-01<br>2026-08-05<br>2026-08-31 | 0930 - 1730 |
|        | プロジェクトを効果的かつ効率的に推進するには、メンバーのモチベーションを喚起し生産性の向上を実現し、メンバー自身が自律的に業務に取り組む環境を作ることが重要です。本コースではメンバーのモチベーションの”創造者”として、メンバーを動機付け、支援するためのスキルを身につけ、優れたプロジェクトリーダーとして現場で活躍できるノウハウを各種演習を通して実践的に学習します。   |             |    |  |             |

|   |  |          |   |  |             |
|---|--|----------|---|--|-------------|
| ULF18R  | <a href="#">ビジネスパーソンに求められる共創型交渉術</a>               | 108,000円 | 2 | 2026-04-23<br>2026-07-02<br>2026-08-31               | 0930 - 1730 |
| 新規事業創出やDX、業務変革を目指し、プロジェクト型で施策を実行するケースが増えてきています。施策の実行に当たり、社内／社外のステークホルダーと共創し、利害調整や合意形成を図ることが必要不可欠です。本コースでは、ビジネスパーソンを対象に利害調整や合意形成を図る術として、交渉術について学びます。DXプロジェクトを題材に、PBL (Project Based Learning) 形式で実践を通じて交渉の進め方を習得いただきます。[PDU: Ways of Working 4、Power Skills 8、Business Acumen 2] |  |          |   |  |             |
| ULF19R  | <a href="#">心のしなやかさを鍛える～レジリエンス・プログラム～</a>          | 90,000円  | 2 | 2026-04-15<br>2026-06-17<br>2026-07-21<br>2026-09-07 | 0930 - 1730 |
| 「何度断られても心折れずに提案し続けられる」、「板ばさみの苦しい状況でも落ち込まずに調整を進められる」といった、様々なストレスや逆境に対する耐性を備え、しなやかに乗り越えていく力は、近年「レジリエンス（逆境力、回復力）」として注目を集めています。本コースでは、そうしたストレスや逆境に対する耐性を高め、「心のしなやかさ」を自ら鍛えるために、「レジリエンス（逆境力、回復力）」の体系的な考え方とスキルを学びます。[PDU: Power Skills 14]   |  |          |   |  |             |
| ULF39R  | <a href="#">プロジェクトリーダーに求められるコミュニケーションスキル</a>       | 108,000円 | 2 | 2026-04-14<br>2026-09-15                             | 0930 - 1730 |
| システム構築のプロジェクトリーダーとして、プロジェクトの円滑な運営を実現するためには、顧客やメンバーとのコミュニケーションは最も重要です。顧客からの情報の収集、要望の引き出し、問い合わせやクレームへの対応、ミーティングを効率的に進める方法など、コミュニケーションにおける留意点や実行すべき点を実際の現場での成功例や失敗例を通して学習します。[PDU: Power Skills 14]  |  |          |   |  |             |
| ULF40R  | <a href="#">相手に伝わる！ビジネス文書の極意 ～論理的な文書の組み立て方～</a>    | 108,000円 | 2 | 2026-05-25<br>2026-06-29<br>2026-08-03               | 0930 - 1700 |
| 相手に伝わるビジネス文書を作成するために必要なスキルを、講義と演習を交えて学習します。ビジネス文書の作成には、特に文書の目的を意識し、構成を設計してから執筆することの重要性を学びます。講義では、構成を論理的に組み立てる考え方と相手に主旨を明確に伝える表現方法を学習し、文書設計演習、作成演習を通じて学習内容の定着を図ります。書式が整っているだけでなく、必要な内容は何か？という本質を考える重要性を理解し、ビジネス文書作成力を高めます。   |  |          |   |  |             |
| ULF70R  | <a href="#">共創力を培うファシリテーションの極意</a>                 | 108,000円 | 2 | 2026-04-16<br>2026-06-01<br>2026-07-16<br>2026-08-31 | 0930 - 1730 |
| 新規事業創出やDX、業務変革を目指し、プロジェクト型で施策を実行するケースが増えてきています。施策の実行に当たり、社内／社外のステークホルダーの立場を互いに理解した上で、円滑に対話・議論を重ね、合意形成を図ることが必要不可欠です。本コースでは、ビジネスパーソンを対象に対話・議論を円滑に進行する術として、ファシリテーションについて学びます。PBL (Project Based Learning) 形式で実践を通じてファシリテーションの進め方を習得いただきます。[PDU: Power Skills 14]                   |  |          |   |  |             |
| ULF86R  | <a href="#">心の状態から見えてくる！コミュニケーションのアプローチ(エゴグラム)</a> | 60,000円  | 1 | 2026-07-29   | 1000 - 1700 |
| 業務を推進する上で対人コミュニケーションは欠くことのできない大切なビジネススキルです。周囲と心を通わせた円滑な人間関係を築くためには、自分を知ることと相手を知ることの両方が必要になります。本コースでは、自分の思考や行動のもととなる心の状態を知るためにエゴグラムを用いて自分のコミュニケーションの特徴を理解したうえで、相手とのコミュニケーションにおけるポイントを学習します。【注意】お申し込み時に個別のe-mailアドレスをお知らせください。オンラインの診断ツールのユーザー登録時（メーリングリストは使えません）に必要です。           |  |          |   |  |             |

|  |   |          |   |  |             |
|--|---|----------|---|--|-------------|
| ULF87R   | <a href="#">ビジネスリーダーのための心理学 ～現場での実践力を養う～</a>    | 50,000円  | 1 | 2026-04-14<br>2026-05-11<br>2026-06-12<br>2026-07-13<br>2026-08-25<br>2026-09-04 | 0930 - 1730 |
| リーダーの行動や決定はチームメンバーの心理にも大きな影響を与えます。チームを円滑に運営するためには、メンバーの気持ちに寄り添い理解することがとても大切です。本コースでは、「チームマネジメント」「コミュニケーション」「モチベーション」「ストレス」の4つの観点で、リーダーがチームメンバーと効果的に意思疎通を行い、チームパフォーマンスを向上するために必要な心理学の基礎知識と実践的スキルを学習します。〔PDU:Power Skills 7〕 |   |          |   |  |             |
| ULF94R   | <a href="#">SEに求められるヒアリングスキルー効果的な顧客要件の聞き取りー</a> | 108,000円 | 2 | 2026-08-03<br>2026-09-10   | 0930 - 1730 |
| システム構築プロジェクトにおいて、SEに求められるヒアリングスキルを、講義と演習を通して学習します。ヒアリングの準備、実施、フォローのシーンにおいて、顧客要件を引き出すためのスキル、顧客要件の整理、および顧客との調整を円滑にするためのスキルを修得します。演習では、業務要件定義のロールプレイングなどにより実践力を高めます。〔PDU:Power Skills 14〕                                     |   |          |   |  |             |

## プログラミング言語

| 研修コード   | コース名  | 受講料<br>(税別) | 日程 | 開催日程   | 時間          |
|---|---|-------------|----|--|-------------|
| ULA67R  | <a href="#">サブレット/JSP/JDBCプログラミング～Eclipseによる開発～</a> | 129,000円    | 3  | 2026-06-15<br>2026-07-06<br>2026-07-29<br>2026-08-19 | 0930 - 1715 |
| JavaでWebアプリを実装するために必要なサブレット/JSP、DBアクセスに必要なJDBCといった、開発現場で必須となるJava要素技術を講義と実習で学習します。要素技術ごとに基本事項を講義と実習で理解していき、最後に、サブレット、JSP、JDBCを連携させた一つのWebアプリケーションを実装することで、Javaで作成するWebアプリケーションの全体像とその実装方法を修得できます。JavaでWebアプリを開発する際に押さえておくべき要素技術の主要ポイントを重点的にまとめたコースです。本コースでは実際の開発で多く利用されている、統合開発環境のEclipseを使用しており、学習した内容を開発現場ですぐに実践できます。 |   |             |    |  |             |
| ULA71R  | <a href="#">テスト自動化のためのJUnit基礎</a>                   | 108,000円    | 2  | 2026-08-03<br>2026-08-24                             | 0930 - 1700 |
| 近年の開発では、アジャイル型の開発プロセスに代表されるように高品質なソフトウェアを短期でリリースすることが求められています。テスト自動化は、高品質なソフトウェアを短期でリリースするうえで不可欠となる、プログラムの品質向上や開発作業の効率化を実現するための仕組みです。本コースでは、テスト自動化を実現するための単体テストツールとしてJavaの開発現場において広く使われているJUnitを中心に、DBアクセス部品をテストする際に効果的なDbUnit、依存関係のある部品をテストする際に効果的なMockito、およびテスト自動化のポイントについて講義と実習で学習します。                              |   |             |    |  |             |
| ULA72R  | <a href="#">SpringによるWebアプリケーション開発(基礎編)</a>         | 108,000円    | 2  | 2026-07-21<br>2026-08-20                             | 0930 - 1730 |
| Spring Frameworkの軸となるDI・AOPの考え方をはじめとして、Spring MVCを利用したWebアプリケーション開発、O/RマッピングフレームワークであるMyBatisとSpringを連携したデータベースアクセスについて例題と実習問題をとおして構築することで、SpringによるWebアプリケーションの作成方法を学習します。   |   |             |    |  |             |
| ULA73R  | <a href="#">SpringによるWebアプリケーション開発 (REST API編)</a>  | 60,000円     | 1  | 2026-07-07<br>2026-09-18                             | 0930 - 1730 |
| Javaアプリケーション開発においてもモダナイゼーションが進んでおり、Springを利用したアプリケーション開発が注目を集めています。また、APIエコノミーというキーワードに代表されるように、アプリケーション開発においてもAPIの構築や利用は欠かせない技術です。本コースでは、Springを利用してREST APIのサービスとクライアントを作成する方法を講義と実習をとおして学習します。   |   |             |    |  |             |

|        |   |          |   |  |             |
|--------|---|----------|---|--|-------------|
| ULA74R | <a href="#">COBOLプログラム(基礎編)</a>   | 102,000円 | 3 | 2026-04-07<br>2026-08-03<br>2026-09-01                             | 0930 - 1700 |
|        | COBOLの基本的な文法（ファイルの入出力、計算、帳票印刷の3つの処理）について講義を行い、実習ではプログラム仕様書から領域図、フローチャートを作成し、コーディングを行います。  |          |   |  |             |
| ULA75R | <a href="#">COBOLプログラム(応用編)</a>   | 102,000円 | 3 | 2026-08-19<br>2026-09-16   | 0930 - 1700 |
|        | COBOLを使用した応用的なプログラム（グループ集計処理（コントロールブレイク）、表操作処理、複数ファイルの突き合わせ処理（マッチング）の3つの処理）について講義を行います。実習ではプログラム仕様書から領域図、フローチャートを作成し、コーディングを行います。   |          |   |  |             |
| ULA76R | <a href="#">Visual StudioによるWebアプリの開発<br/>(.NET Core+MVC基礎編)</a>  | 129,000円 | 3 | 2026-07-27<br>2026-08-24<br>2026-09-09                             | 0930 - 1715 |
|        | Visual Studioの機能や操作方法、ASP.NET Core MVCアプリケーションの作成方法を説明と実習によって学習します。実習では、ASP.NET Core MVCアプリケーションによるオンラインショッピングのWebサイトを構築します。  |          |   |  |             |
| ULA77R | <a href="#">Visual StudioによるWindowsアプリの開発<br/>(基礎編)</a>   | 129,000円 | 3 | 2026-07-29<br>2026-09-16   | 0930 - 1715 |
|        | .NET Framework上で動作するWindowsアプリケーションの開発技術を講義と実習をとおして学習します。講義では、Windowsアプリケーションのユーザーインターフェイスの作成から画面間連携、データベースの参照/更新までを学習します。実習では、Visual StudioとSQL Serverを使用し、データベース連携を伴うクライアント/サーバー型の受注管理システムを構築します。 |          |   |  |             |
| ULA97R | <a href="#">JavaによるWebアプリ開発力養成トレーニング～実装/単体テスト～</a>  | 180,000円 | 3 | 2026-08-26<br>2026-09-28   | 0930 - 1715 |
|        | JavaでWebアプリケーションを実装するために必要な「サーブレット/JSP/JDBC」の各要素技術を前提として、設計書（画面仕様やアプリケーション方式など）に基づいた実装と、テストフレームワークであるJUnitとDbUnitを利用した単体テストについて、講義と実習で学習します。実習では、オンラインショッピングのWebアプリケーション開発を題材として、実装と単体テストを実施します。    |          |   |  |             |
| ULA98R | <a href="#">Javaプログラミング基礎</a>   | 129,000円 | 3 | 2026-06-09<br>2026-07-08<br>2026-08-05<br>2026-09-28               | 0930 - 1700 |
|        | Java言語の文法およびオブジェクト指向プログラミングについて実習を通して学習します。   |          |   |  |             |
| ULB94R | <a href="#">Python入門</a>  | 50,000円  | 1 | 2026-04-09<br>2026-05-15<br>2026-06-22<br>2026-07-31<br>2026-09-09 | 0930 - 1700 |
|        | Pythonを使用するにあたり必要な基本文法（変数、リスト、演算子、制御文など）について学習します。Pythonのライブラリを使用する方法についても、講義および実習をとおして学習します。講義では例題プログラムを用いて説明を行い、実習では実際にプログラムを作成して理解を深めます。   |          |   |  |             |
| ULB95R | <a href="#">PythonによるWebアプリケーション開発</a>  | 50,000円  | 1 | 2026-06-15<br>2026-08-19   | 0930 - 1700 |
|        | PythonによるWebアプリケーション作成やデータベース連携を講義と実習によって学習します。フレームワークとして、Flaskおよびdatasetを使用します。フレームワークを用いることで、効率的に開発します。   |          |   |  |             |

|        |  |          |   |  |             |
|--------|--|----------|---|--|-------------|
| ULD28R | <a href="#">VBプログラミング基礎</a>  | 102,000円 | 3 | 2026-07-21<br>2026-08-17   | 0930 - 1715 |
|        | VB を使用して、.NET Framework 対応アプリケーションを開発する際に必須の基本文法（変数、定数、配列、制御構文）に加え、オブジェクト指向プログラミングに必要な文法（継承、インターフェイス、オーバーライドなど）を講義と実習を通して学習します。実習は、理解度やレベルに合わせて自分のペースで進められるように、学習テーマごとの実習問題を豊富にご用意しています。実習問題は、フローチャートを掲載し、アルゴリズムを苦手とする方にも理解しやすいようにプログラムの流れを可視化しています。 |          |   |  |             |
| ULF02R | <a href="#">ネクストステップPythonによる日常業務効率化</a>   | 40,000円  | 1 | 2026-06-05   | 0930 - 1700 |
|        | Pythonのライブラリを使った定常業務の効率化について、一歩進んだノウハウを学習します。HTML文書から必要なデータを抜き出す方法（Webスクレイピング）や、ある結果をトリガーとしてメール通知を行う方法などを学習します。  |          |   |  |             |
| ULF32R | <a href="#">C#プログラミング基礎</a>  | 129,000円 | 3 | 2026-04-08<br>2026-07-06<br>2026-08-05                             | 0930 - 1715 |
|        | C# を使用して、.NET Framework 対応アプリケーションを開発する際に必須の基本文法（変数、定数、配列、制御構文）に加え、オブジェクト指向プログラミングに必要な文法（継承、インターフェイス、オーバーライドなど）を講義と実習を通して学習します。実習は、理解度やレベルに合わせて自分のペースで進められるように、学習テーマごとの実習問題を豊富にご用意しています。実習問題は、フローチャートを掲載し、アルゴリズムを苦手とする方にも理解しやすいようにプログラムの流れを可視化しています。 |          |   |  |             |
| ULF53R | <a href="#">C言語プログラミングの基礎</a>  | 102,000円 | 3 | 2026-04-07<br>2026-07-21<br>2026-08-19                             | 0930 - 1715 |
|        | C言語のプログラミング方法について、順次、分岐、繰返し処理方法と関数作成方法を講義と実習を通じて系統的に順序だてて学習します。実習では、キーボードやディスプレイなどの標準入出力の操作方法から、変数、配列、構造体などのデータ型の理解、関数とポインタの組み合わせによる効率的なデータ処理方法を学習します。   |          |   |  |             |
| ULF54R | <a href="#">プログラミング入門(Java編)</a>   | 40,000円  | 1 | 2026-04-07<br>2026-04-28<br>2026-05-27<br>2026-08-05<br>2026-09-03 | 0930 - 1700 |
|        | プログラムを作成するにあたり必要な基本文法（変数、配列、演算子、制御文など）について学習します。講義ではJava言語を使用した例題プログラムを用いて説明を行い、実習では実際にプログラムを作成して理解を深めます。  |          |   |  |             |
| ULF55R | <a href="#">ビジュアルプログラミングから始めるプログラミング超入門</a>  | 40,000円  | 1 | 2026-06-24   | 0930 - 1630 |
|        | ビジュアルプログラミングツールにより基本的なアルゴリズム（順次構造、分岐構造、反復構造）を学習します。さらにビジュアルプログラミングツールで作成したブロックの組み合わせをソースコードに置き換えて実行することで、プログラミング言語によるプログラミングの流れを理解します。プログラミング言語はPythonを使用し、簡単なプログラムを作成します。   |          |   |  |             |
| ULG04R | <a href="#">Pythonプログラミング応用</a>  | 108,000円 | 2 | 2026-05-11<br>2026-06-16<br>2026-07-23<br>2026-08-24               | 0930 - 1700 |
|        | Pythonプログラミングの応用的な内容として、「文字列操作」「リスト内包表記」「オブジェクト指向プログラミング」「モジュール化」などを学習します。   |          |   |  |             |
| ULG06R | <a href="#">Pythonによる日常業務効率化</a>   | 40,000円  | 1 | 2026-07-17   | 0930 - 1700 |
|        | Pythonを用いて、定常業務（ファイル・ディレクトリ操作、Excel操作など）を自動化します。日常業務でありがちなシナリオをベースに、Pythonのライブラリを使って効率化する方法を学習します。ご紹介するサンプルプログラムをアレンジすることで業務に活用いただけます。   |          |   |  |             |

# プロジェクトマネジメント

| 研修コード  | コース名   | 受講料<br>(税別) | 日程 | 開催日程   | 時間          |
|--------|--|-------------|----|--|-------------|
| ULA10R | <a href="#">プロジェクトマネジメント技法の実践～品質分析、進捗分析、対策編～</a>   | 108,000円    | 2  | 2026-05-28<br>2026-06-29<br>2026-08-26                             | 0930 - 1730 |
|        | プロジェクトを推進する際に重要となる「品質分析」「進捗分析」などの分析技法や、「障害多発」「進捗遅延」などの問題に対する解決策の立案について、システム開発事例の演習を通じて学習します。[PDU: Ways of Working 14]  |             |    |  |             |
| ULA11R | <a href="#">システム品質の計画</a>  | 60,000円     | 1  | 2026-04-20<br>2026-07-17<br>2026-09-01                             | 0930 - 1730 |
|        | システム品質を確保するために特に重要なことは「品質計画」を事前に作成することです。本コースでは、「品質計画」に書くべき要素、品質目標・品質指標の考え方、レビューのプロセス設計、検証（テスト）の考え方、分析・評価の方法、品質体制、品質教育などを、講義とミニ演習を通じて学習します。[PDU: Ways of Working 7]  |             |    |  |             |
| ULA46R | <a href="#">知っておくべきプロジェクトマネジメント (PMBOK 7版)</a>   | 50,000円     | 1  | 2026-04-22<br>2026-05-22<br>2026-07-24<br>2026-08-24<br>2026-09-11 | 0930 - 1730 |
|        | 効果的なプロジェクトマネジメントを行うために、プロジェクトマネージャーおよびプロジェクトに関わる人が意識すべき基礎的な事項を学習します。PMBOKガイド (R) 第7版では、意図した成果をより重視するために、従来のプロセスベースの標準から原理・原則ベースの標準に移行しています。このコースでは、PMBOKガイド (R) 第7版の12個の原理・原則と、8個のパフォーマンス領域について学習します。[PDU: Ways of Working 3.5, Power Skills 2, Business Acumen 1.5] |             |    |  |             |
| ULA47R | <a href="#">じっくり学ぶプロジェクトマネジメント (PMBOK 7版)</a>  | 90,000円     | 2  | 2026-04-21<br>2026-07-22   | 0930 - 1730 |
|        | PMBOKガイド (R) 第7版では、意図した成果をより重視するために、従来のプロセスベースの標準から原理・原則ベースの標準に移行しています。このコースでは、PMBOKガイド (R) 第7版の12個の原理・原則と8個のパフォーマンス領域について、演習に取り組みながら学習し理解を深めます。演習では、モデルや方法、ドキュメントの作成を実践します。[PDU: Ways of Working 6, Power Skills 6, Business Acumen 2]                              |             |    |  |             |
| ULA54R | <a href="#">品質管理ノウハウと実践力の養成</a>  | 60,000円     | 1  | 2026-05-25<br>2026-07-30<br>2026-09-28                             | 0930 - 1730 |
|        | プロジェクトおよび組織の品質向上・プロセス改善活動を推進する上で必要となる「品質管理ノウハウ」と「品質管理実践力」を講義と演習によって学習します。自プロジェクトの特性を考慮した品質目標の立て方、品質計画の策定方法及びコントロール技法について学習します。   |             |    |  |             |
| ULA57R | <a href="#">システム開発事例で学ぶシリーズ～リスクマネジメント～</a>   | 60,000円     | 1  | 2026-06-08<br>2026-08-19   | 0930 - 1730 |
|        | システム開発プロジェクトにおけるリスクマネジメントの活動（リスクの特定、リスクの分析、リスクの対応計画策定、リスクの監視・コントロール）の基本的な知識について講義で学習します。システム開発プロジェクトの事例演習を通じて、より実践的なスキルを習得します。[PDU: Ways of Working 7]   |             |    |  |             |
| ULA58R | <a href="#">プロジェクト計画</a>   | 108,000円    | 2  | 2026-05-21<br>2026-06-25<br>2026-08-03<br>2026-09-08<br>2026-09-24 | 0930 - 1730 |
|        | 情報システム構築プロジェクトの計画策定に必要な知識と計画作成方法を説明と演習を通して学習します。演習では、スケジュール、コスト計画、体制構築、リスク計画、および調達計画の立案を行い、実践的なスキルを修得します。[PDU: Ways of Working 14]   |             |    |  |             |

|        |   |          |   |  |             |
|--------|---|----------|---|--|-------------|
| ULA59R | <a href="#">プロジェクトの実行とコントロール</a>  | 108,000円 | 2 | 2026-05-20<br>2026-08-03<br>2026-09-08   | 0930 - 1730 |
|        | プロジェクトをマネジメントしていくサイクルの中の「実行プロセス群」と全体を通じて他のプロセス群と相互に作用していく「監視・コントロールプロセス群」において、意識すべき観点を学習します。1日目は講義を中心に基本的な事項を学習して、2日目に演習を通して講義内容の確認を行います。〔PDU：Ways of Working 14〕   |          |   |  |             |
| ULA91R | <a href="#">システム開発におけるWBS作成と見積り</a>   | 60,000円  | 1 | 2026-06-17<br>2026-07-15<br>2026-08-27   | 0930 - 1730 |
|        | システム開発プロジェクトにおける開発システムの規模、工数、費用を見積る基礎的な考え方、手法、留意点を学習します。〔PDU：Ways of Working 7〕   |          |   |  |             |
| ULB84R | <a href="#">プロジェクトマネジメント超入門～プロジェクトの「なぜ？」に答える～</a>   | 40,000円  | 1 | 2026-06-12<br>2026-07-13<br>2026-09-07   | 0930 - 1730 |
|        | プロジェクトメンバーが、プロジェクトマネージャと連携してプロジェクトを進めるにあたり、重要なポイントを学習します。プロジェクト計画の必要性やプロジェクトマネージャの役割などについてQ&A形式のテキストを使用し、グループ演習や個人演習で「なぜ？」を考えながら学習します。〔PDU：Ways of Working 7〕   |          |   |  |             |
| ULF25R | <a href="#">プロジェクトマネジメントの基礎</a>   | 50,000円  | 1 | 2026-05-18<br>2026-06-12<br>2026-07-10<br>2026-08-05<br>2026-08-28<br>2026-09-16<br>2026-09-24 | 0930 - 1730 |
|        | プロジェクトの開始から終了までの全体的な流れ、およびその流れの中でのプロジェクトマネージャとして、意識すべき観点について、講義を中心に基礎的な事項を学習します。〔PDU：Ways of Working 7〕   |          |   |  |             |
| ULF26R | <a href="#">現行踏襲プロジェクトの勘所</a>   | 60,000円  | 1 | 2026-06-12<br>2026-07-29<br>2026-08-26   | 0930 - 1730 |
|        | 「現行踏襲」というキーワードの下に実施されるシステム再構築プロジェクトは近年増加の一途をたどっています。その増加にともなって、品質・納期・コストや顧客満足を満たせず失敗プロジェクトとなる例も後を絶ちません。「現行通り」というお客様要件は、一見容易に思えますが、多くの失敗のタネを含んでいます。本コースでは、一般論に富士通現場プロマネのノウハウを加味した、「現行踏襲とは何か」「なぜ問題が起こるのか」「再構築企画時のポイント」「計画策定時のポイント」「現行踏襲15の心得」などを学習します。また、座学だけでなく、富士通グループの事例を基にしたケーススタディや議論の中で、受講者の暗黙知の形式知化を促し、あるべき論に留まらない実践的な「現行踏襲プロジェクト成功の勘所」を掴みます。〔PDU：Ways of Working 7〕 |          |   |  |             |
| ULF48R | <a href="#">システム品質の基礎</a>   | 50,000円  | 1 | 2026-04-10<br>2026-05-19<br>2026-06-24<br>2026-07-30<br>2026-09-04                             | 0930 - 1700 |
|        | システムの品質を確保するには、現状を分析し問題の早期発見をすることが重要です。本コースでは、データを使った品質分析の必要性と、実際に分析を行うための手法であるQC7つ道具（パレート図、特性要因図、ヒストグラムなど）と統計的手法（正規分布、四分位範囲、箱ひげ図など）の活用方法、システム品質と改善の考え方について学習します。〔PDU：Ways of Working 7〕  |          |   |  |             |
| ULF73R | <a href="#">ゼロから学ぶプロジェクトマネジメントの基本</a>   | 50,000円  | 1 | 2026-04-23<br>2026-06-29<br>2026-08-03<br>2026-09-02   | 0930 - 1730 |
|        | プロジェクトマネジメントの要素である、スコープマネジメント、スケジュールマネジメント、コストマネジメント、品質マネジメント、リスクマネジメント、調達マネジメントの基本事項について、講義と演習を通じて学習します。〔PDU：Ways of Working 7〕  |          |   |  |             |

|  |   |         |   |  |             |
|--|---|---------|---|--|-------------|
| ULF78R   | <a href="#">ソフトウェア品質特性に着目した品質計画の立案</a>            | 70,000円 | 1 | 2026-06-01<br>2026-08-28                             | 0930 - 1730 |
| 一般的に、システム開発の上流工程における要件定義およびそれに基づく品質計画の策定についての必要性、重要性が認識されているにもかかわらず、十分に果たされず結果的に運用フェーズでの品質低下を招くケースが多く見られます。本コースでは、講義と演習を通じて、ISO25000に準拠して自プロジェクトの品質特性を捉えた適切な品質計画の立案やIPAの「非機能要求グレード」を活用した非機能要求の確認を学習します。[PDU: Ways of Working 3、Power Skills 2、Business Acumen 2]   |   |         |   |  |             |
| ULF79R   | <a href="#">ゼロから学ぶプロジェクトマネジメントの基本～チームマネジメント編～</a> | 50,000円 | 1 | 2026-04-07<br>2026-07-07<br>2026-08-19<br>2026-09-28 | 0930 - 1700 |
| プロジェクトは、多くの場合、異なる組織から集められたメンバーでプロジェクトチームを編成します。異なる文化、経験、価値観をもつメンバーを取りまとめ、プロジェクトを成功させるために必要なリーダーシップとチームマネジメントについて、講義と演習を通じて学習します。[PDU: Power Skills 6.5]  |   |         |   |  |             |
| ULF93R   | <a href="#">プロジェクト成功のためのチームビルディング ～多様性を活かす～</a>   | 60,000円 | 1 | 2026-06-08<br>2026-08-27                             | 0930 - 1730 |
| プロジェクトは複数のチームで構成され、チームメンバーが中心となって成果物を作り上げていくため、プロジェクトの成功にはチームパフォーマンスの向上が不可欠です。また、変化の激しいVUCAの時代では、多様性を発揮し様々な意見を出し合い、柔軟に変化に適応していくことが価値の提供につながります。本コースでは、組織で働くすべての人々を対象にしたEverything DiSC(R) ワークプレイスのアセスメントを実施し、多様性を発揮するチーム作りに必要な「自己理解」「他者理解」「場に応じた適切なコミュニケーション」について学びます。演習では、多様性を発揮できるチームビルディングに効果のある取り組みについて疑似体験します。Everything DiSC(R)は、効果的なコミュニケーションを行うためのコミュニケーションツールです。[PDU: Ways of Working 1、Power Skills 6] |   |         |   |  |             |
| ULA51R   | <a href="#">テレワーク時代に求められるマネジメントスキル</a>            | 40,000円 | 1 | 2026-05-20<br>2026-06-25<br>2026-07-31               | 1300 - 1700 |
| これまでのマネジメントスタイルを、テレワーク中心のニューノーマルの環境でどう変えていくべきかについて、講義・ディスカッションを通して理解します。特に管理型から支援型へのマネジメントの意識改革が重要であることを理解し、現場のマネジメントで今後活用していただきます。[PDU: Ways of Working 1、Power Skills 3]   |   |         |   |  |             |

## リーダーシップ

| 研修コード   | コース名   | 受講料<br>(税別) | 日程 | 開催日程   | 時間          |
|---|--|-------------|----|--|-------------|
| ULG11R  | <a href="#">Unlock Your Potential! クリフトンストレングス(R)で解き放つ、最高の自分</a> | 40,000円     | 1  | 2026-04-20<br>2026-05-20<br>2026-06-18<br>2026-07-23<br>2026-08-21<br>2026-09-14 | 1300 - 1700 |
| Gallup社のクリフトンストレングスに基づき、様々なワークを通して自身の才能と強みを深く理解します。グループディスカッションにより互いの違いを共有し、他者との違いが自分の強みであることを認識するとともに、強みの効果的な活用方法を習得し、パフォーマンス向上とコミュニケーションの円滑化を目指します。 |  |             |    |  |             |

# 営業・マーケティング

| 研修コード  | コース名   | 受講料<br>(税別) | 日程 | 開催日程   | 時間          |
|--------|--|-------------|----|--|-------------|
| ULA04R | <a href="#">ソリューションセールス研修 商談機会発掘～仮説立案編～</a>  | 60,000円     | 1  | 2026-06-10<br>2026-07-28<br>2026-09-18               | 0930 - 1730 |
|        | ソリューションプロセスの1つである、商談機会の発掘における手持ち商談ネタを増やすための具体的な手法を修得します。既存顧客の新規商談の発掘や新規顧客発掘のために講義、演習を通じて仮説立案の手法を実践し、明日からの活動に活かします。   |             |    |  |             |
| ULA05R | <a href="#">ソリューションセールス研修 商談機会発掘～財務分析編～</a>  | 60,000円     | 1  | 2026-05-14<br>2026-08-17<br>2026-09-17               | 0930 - 1730 |
|        | ソリューションプロセスの商談機会発掘における7つのポイントの1つである財務分析に焦点を当てます。財務分析から、顧客の課題を仮説し、明日からの活動に活かします。  |             |    |  |             |
| ULA52R | <a href="#">アカウント営業のための顧客マーケティング</a>   | 108,000円    | 2  | 2026-06-22<br>2026-08-20                             | 0900 - 1730 |
|        | マーケティングは価値を提供する企業のあらゆる部署・ヒトに必要となる考え方です。特に、特定顧客を担当するアカウント営業の方にとって重要な考え方です。本研修では、ご自身が担当されている顧客を前提に、講義および演習を通じてBtoBにおける顧客マーケティングの理解を深め、ご自身の今後の活動に活かさせていただきます。   |             |    |  |             |
| ULA89R | <a href="#">ソリューションセールスの基礎～プロセス理解編～</a>  | 50,000円     | 1  | 2026-05-22<br>2026-07-07                             | 0930 - 1730 |
|        | ソリューションビジネスを行ううえで基礎となるセールスプロセス全体像を理解し、各プロセスの実行に必要なスキル・知識を修得します。グループワークを通じて自らのソリューション活動とのフィット・ギャップを行い、明日からの活動に活かします。  |             |    |  |             |
| ULA02R | <a href="#">ISMS実践トレーニング～ポリシー、リスクアセスメント、管理策の選択～</a>  | 108,000円    | 2  | 2026-06-15<br>2026-09-17                             | 0930 - 1730 |
|        | 情報セキュリティ上のリスクは、企業や組織、団体に大きな損失をもたらすため、適切な管理が事業活動の中で必要不可欠となっています。本研修では、企業や組織、団体に情報セキュリティ対策を効果的に進めていく上で必要な情報セキュリティマネジメントシステムの構築・運用についての基礎知識（ポリシーの整備やリスク分析など）を体系的に講義で学習します。また、情報セキュリティマネジメントシステムを構築・運用するための留意点についてグループ演習を交えながら学習します。 |             |    |  |             |
| ULA03R | <a href="#">ISMS内部監査実践トレーニング～ロールプレイによる実務スキルの修得～</a>  | 126,000円    | 2  | 2026-06-25<br>2026-09-24                             | 0930 - 1730 |
|        | 情報セキュリティを有効にマネジメントする上で、監査や是正は非常に重要なプロセスです。本研修では、監査部門と被監査部門に分かれて監査実務を体験するロールプレイング演習を通して、監査人および被監査部門に必要な監査実務の主要スキルを修得します。  |             |    |  |             |
| ULA21R | <a href="#">情報セキュリティリテラシー～若手としての必須知識と日常の対策～</a>  | 40,000円     | 1  | 2026-04-13<br>2026-09-08                             | 0930 - 1700 |
|        | 信頼される安全な情報管理やサービス提供の実現に向けて必要となる情報セキュリティ分野の基本知識について、組織の一員としてのリスクをベースにしなが体系的に講義と演習を通じて学習します。   |             |    |  |             |
| ULA84R | <a href="#">基礎から学ぶ情報セキュリティマネジメント～管理者や監査人のスキル修得～</a>  | 50,000円     | 1  | 2026-05-27<br>2026-06-10<br>2026-07-29<br>2026-08-24 | 0930 - 1700 |
|        | 情報セキュリティ上のリスクは、企業や組織、団体に大きな損失をもたらすため、適切な管理が事業活動の中で必要不可欠です。本研修では、企業や組織、団体に情報セキュリティを効果的に進めていく上で必要な情報セキュリティマネジメントの取り組みについて講義と演習を通じて学習します。   |             |    |  |             |

|        |  |          |   |  |             |
|--------|--|----------|---|--|-------------|
| ULA85R | <a href="#">情報セキュリティ対策実践シリーズ 基盤<br/>セキュリティ設計トレーニング編</a>  | 70,000円  | 1 | 2026-08-17<br>2026-09-25   | 0930 - 1700 |
|        | セキュリティ対策は、出来上がったシステムに対してあとから行うのが非常に難しいといわれています。設計の段階からセキュリティ対策を行っておかないと後手後手の対策にならざるを得ません。そこで、本コースではインターネット公開システムにおけるシステム基盤のセキュリティを保つための設計を、演習を通して学習します。講師が講義をするスタイルではなく、前提コースの内容をインプットとして演習し、受講者間での発表と講師のアドバイスを通じて設計の勘所を習得していただきます。  |          |   |  |             |
| ULA86R | <a href="#">情報セキュリティ対策実践シリーズ 実機<br/>で学ぶネットワークセキュリティ編</a>   | 108,000円 | 2 | 2026-06-22<br>2026-09-03<br>2026-09-28   | 0930 - 1730 |
|        | ファイアーウォールを中心としたネットワークセキュリティ技術の特徴や機能、およびファイアーウォール構築のポイントについて学習します。また、ファイアーウォールの設定を中心にした実習を行い、ネットワークのアクセス制御や動作について学習します。   |          |   |  |             |
| ULA87R | <a href="#">情報セキュリティ対策実践シリーズ 実機<br/>で学ぶLinuxサーバ要塞化編</a>  | 180,000円 | 3 | 2026-06-16<br>2026-09-14   | 0930 - 1730 |
|        | インターネットに公開するセキュアなLinuxサーバの構築技術を体系的に学習します。悪意ある攻撃者からの攻撃を把握し、Linuxサーバを防御するために必要となる対策を実機による実習で習得します。   |          |   |  |             |
| ULB06R | <a href="#">情報セキュリティ対策実践シリーズ セキ<br/>ュア環境構築ステップアップ編</a>   | 60,000円  | 1 | 2026-05-26<br>2026-07-10<br>2026-08-26   | 0930 - 1700 |
|        | セキュリティ製品は数多くの種類があり、どの製品がどのような効果を発揮するのかを把握するのが困難な場合があります。また、自社に構築されたセキュリティの環境を行き当たりばったりで変更するわけにはいかず、「なぜこの製品を導入したのだろう」「なぜこの設定になっているのだろう」と疑問に思っても解決する術がない場合が多いです。そこで本コースでは、実際に構築された環境にふれることで、ファイアウォール・IDS/IPS、WAF、サンドボックスなどの各セキュリティ製品がどのような効果を発揮するのか、各セキュリティ製品の設定を変更することによる効果を体験することで、自社のセキュア環境構築・運用に役立てることができます。 |          |   |  |             |
| ULB62R | <a href="#">サイバー攻撃対策実践シリーズ 動かして<br/>学ぶサイバーセキュリティ基礎編</a>  | 160,000円 | 2 | 2026-05-21<br>2026-06-11<br>2026-07-07<br>2026-07-29<br>2026-08-18<br>2026-09-10 | 0930 - 1730 |
|        | 標的型攻撃をはじめとした、サイバーセキュリティに関する基礎知識を習得するコースです。サイバーレンジ（サイバー攻撃や防御の演習を行うための訓練場）を使用して、典型的な攻撃パターンを実際に体験し、攻撃の様子をリアルタイムで確認します。さらに、その攻撃された環境を解析して攻撃者の痕跡が見つけられることを体験します。サイバーセキュリティに関する基礎知識を習得したい方向けのコースです。攻撃の詳細や解析の手法など技術的な内容の詳細につきましては上位コースのご受講をご検討ください。   |          |   |  |             |
| ULF37R | <a href="#">情報セキュリティ対策実践 基礎から学ぶ<br/>セキュア環境構築・運用入門編</a>   | 90,000円  | 2 | 2026-05-21<br>2026-06-08<br>2026-07-13<br>2026-08-06<br>2026-09-07               | 0930 - 1730 |
|        | 情報セキュリティ上のリスクは、企業や組織、団体に大きな被害や影響をもたらすため、適切な予防と事後対応が事業活動の中で必要不可欠となっています。本研修では、情報セキュリティ対策を進めていく上で基本となる、アクセス制御技術、認証技術、暗号利用技術、ウイルス対策技術などの基礎知識を体系的に講義で学習します。また、それらの対策技術を活用したセキュアな環境を構築・運用するための留意点をシミュレーター実習およびグループ演習を交えながら学習します。  |          |   |  |             |

# 技術トレンド

| 研修コード  | コース名  | 受講料<br>(税別) | 日程 | 開催日程   | 時間          |
|--|---|-------------|----|--|-------------|
| UBU16R   | <a href="#">AWS Technical Essentials</a>                    | 70,000円     | 1  | 2026-04-10<br>2026-04-21<br>2026-05-22<br>2026-05-29<br>2026-06-16<br>2026-07-03<br>2026-07-24<br>2026-07-31<br>2026-08-21<br>2026-09-04<br>2026-09-30 | 0930 - 1730 |
| <p>このコースでは、AWS の製品、サービス、および一般的なソリューションについて取り上げます。コンピューティング、データベース、ストレージ、ネットワーキング、モニタリング、セキュリティに関する AWS の基本概念を紹介します。ハンズオンラボの体験を通じて AWS の操作を開始することができます。ビジネス要件を満たすソリューションについて、十分な情報を基づいた決定ができるように、AWS サービスを深く理解するために必要な概念を説明します。コース全体を通して、可用性、耐障害性、拡張性、コストパフォーマンスに優れたクラウドソリューションを構築、比較、運用する方法を説明します。</p> |   |             |    |  |             |
| UCV14R   | <a href="#">Microsoft Azure Administrator</a>               | 180,000円    | 3  | 2026-04-22<br>2026-07-01<br>2026-08-05<br>2026-08-19<br>2026-09-16   | 0930 - 1730 |
| <p>IT技術者の方を対象に、Azureサブスクリプションの管理、仮想マシンの作成と拡張、ストレージの実装、仮想ネットワークの構成、データのバックアップと共有、Azureとオンプレミスサイトの接続、ネットワークの管理、Azure ADの実装などについて学びます。</p>  |   |             |    |  |             |
| ULB15R   | <a href="#">Architecting on AWS</a>                         | 210,000円    | 3  | 2026-05-13<br>2026-06-22<br>2026-07-13<br>2026-08-04<br>2026-08-26<br>2026-09-16   | 0930 - 1730 |
| <p>このコースでは、AWS プラットフォームで IT インフラストラクチャを構築するための基礎を扱います。参加者は、AWS の各サービスがクラウドベースのソリューションにどのように適合するかを理解して AWS クラウドを最適化する方法を学びます。さらに、AWS で最適なITソリューションを設計するための AWS クラウドのベストプラクティスと設計パターンを探り、ガイド付きのハンズオン演習でさまざまなインフラストラクチャを構築します。また、このコースでは、初心者向けのアーキテクチャを作成し、堅牢で適応性の高いソリューションを構築する方法についても説明します。</p>         |   |             |    |  |             |
| ULB61R   | <a href="#">Microsoft 365 Fundamentals(バウチャー付き)</a>         | 63,000円     | 1  | 2026-06-02<br>2026-07-23<br>2026-08-26   | 0930 - 1730 |
| ULB82R   | <a href="#">Power Apps/Power Automateによるノーコード・ローコード開発基礎</a> | 50,000円     | 1  | 2026-04-20<br>2026-06-24<br>2026-08-21<br>2026-09-02   | 0930 - 1700 |
| <p>本コースでは、ノーコード・ローコード開発の概要を紹介します。プラットフォームはMicrosoft Power Platformを使用し、ビジネス価値や製品機能について学習します。実機操作を通じてノーコード・ローコード開発でどのようなことが実現できるかイメージを掴んでいただきます。</p>  |   |             |    |  |             |

|        |   |         |   |  |             |
|--------|---|---------|---|--|-------------|
| ULC38R | <a href="#">Microsoft 365 Fundamentals</a>  | 50,000円 | 1 | 2026-06-02<br>2026-07-23<br>2026-08-26   | 0930 - 1730 |
|        |   |         |   |  |             |
| ULC60R | <a href="#">AWS Cloud Practitioner Essentials</a>   | 70,000円 | 1 | 2026-04-09<br>2026-04-20<br>2026-05-21<br>2026-05-28<br>2026-06-15<br>2026-07-02<br>2026-07-23<br>2026-07-30<br>2026-08-20<br>2026-09-03<br>2026-09-29 | 0930 - 1730 |
|        | このコースは、特定の技術領域ではなく、アマゾン ウェブ サービス (AWS) クラウドを全体的に理解したい方を対象としています。受講者は、AWS クラウドの概念、AWS のサービス、セキュリティ、アーキテクチャ、料金、サポートについて学習し、AWS クラウドについての知識を深めます。このコースは、AWS 認定クラウドプラクティシヨナー試験の準備にも役立ちます。 |         |   |  |             |
| ULD71R | <a href="#">クラウドマスト時代におけるクラウド基礎</a>   | 50,000円 | 1 | 2026-04-06<br>2026-05-20<br>2026-06-24<br>2026-07-30<br>2026-08-19<br>2026-09-11   | 0930 - 1730 |
|        | 「クラウドマスト」時代において必要となるクラウドの基礎知識について学習します。本コースでは、2つのシステム形態 (SoRとSoE) において、クラウドを導入する際の考え方や考慮点を紹介します。また、システム構築におけるオンプレミスとクラウドの違いから、クラウドの活用方法、クラウド特有の機能について、演習を交えて一日で効率的に学びます。              |         |   |  |             |
| ULD98R | <a href="#">Microsoft Azure入門</a>   | 50,000円 | 1 | 2026-04-10<br>2026-05-15<br>2026-06-09<br>2026-07-16<br>2026-07-31<br>2026-08-17<br>2026-09-14   | 0930 - 1730 |
|        | Microsoft Azureの概要や特徴、コンピューティングやデータ管理機能などの主な構成要素、Azureの関連サービスやAzureの代表的な利用シナリオについて学習します。  |         |   |  |             |
| ULF58R | <a href="#">パブリッククラウドの提案演習～既存システムのクラウドシフト～</a>  | 90,000円 | 2 | 2026-04-08<br>2026-06-04<br>2026-08-03   | 1000 - 1630 |
|        | 本コースではパブリッククラウドの導入を検討している顧客に対して、顧客ヒアリングや提案書作成をロールプレイ形式で体験します。特徴が異なる複数の業務をクラウド導入の対象にすることにより、業務要件に応じたクラウド提案を行うことの重要性を学びます。実業務に近い形でワークショップを行うことで、より実践的な顧客へのアプローチ方法を学ぶことが可能です。            |         |   |  |             |
| ULF71R | <a href="#">まずはやってみる！クラウドで作る3階層Webシステム</a>  | 30,000円 | 1 | 2026-05-25<br>2026-07-21<br>2026-09-28   | 1400 - 1700 |
|        | クラウドでの簡易的なシステム構築体験を通じて、クラウドの利便性や特徴を速習するコースです。コースでは、クラウドの原理原則などの前提よりもまずは触って体験することで、より実感を持ってクラウドを理解することを目的としています。また、受講を通じて前提知識の不足などへの気づきを促し、本格的なクラウド学習に向けた事前チェックの観点も含んでいます。             |         |   |  |             |

|  |   |         |   |  |             |
|--|---|---------|---|--|-------------|
| ULF81R   | <a href="#">まずはやってみる！クラウドで作るファイルサーバーと認証基盤</a>   | 30,000円 | 1 | 2026-06-01<br>2026-07-09<br>2026-08-31   | 1400 - 1700 |
| クラウドでの簡易的なシステム構築体験を通じて、クラウドの利便性や特徴を速習するコースです。本コースでは、知識としてクラウドの定義などを覚えることに重きを置くのではなく、体験としてクラウドに触れることに重きを置き、実感を持ってクラウドを理解することを目的としています。また、受講を通じて前提知識の不足などへの気づきを促し、本格的なクラウド学習に向けた事前チェックの観点も含んでいます。  |   |         |   |  |             |
| ULF90R   | <a href="#">ローコードを活用した開発プロセス演習</a>              | 50,000円 | 1 | 2026-04-16<br>2026-07-30   | 0930 - 1700 |
| ローコード技術者に必要な開発プロセスの成果物等について、講義・演習を通して学習します。演習ではローコードを前提とした一連の開発プロセスを体験します。   |   |         |   |  |             |
| ULF98R   | <a href="#">パブリッククラウドのシステム構成設計～社内業務システムの移行～</a> | 50,000円 | 1 | 2026-05-21<br>2026-09-04   | 0930 - 1700 |
| 既存オンプレミスシステムをクラウドで稼働させる際には、PaaSとIaaSを組み合わせる利用することが多くなります。そのためクラウドのシステム構成設計を行う際にはPaaSとIaaSの特徴を適切に理解することが重要になります。本コースではMicrosoft AzureのPaaSとIaaS機能を元に、要件に応じた最適なシステム構成設計を行う際のノウハウを学習します。  |   |         |   |  |             |
| ULG08R   | <a href="#">Microsoft Azure入門(バウチャー付き)</a>      | 63,000円 | 1 | 2026-04-10<br>2026-05-15<br>2026-06-09<br>2026-07-16<br>2026-07-31<br>2026-08-17<br>2026-09-14 | 0930 - 1730 |
| Microsoft Azureの概要や特徴、コンピューティングやデータ管理機能などの主な構成要素、Azureの関連サービスやAzureの代表的な利用シナリオについて学習します。認定試験対策コースではありません。Azureの認定試験内容を学習前にAzureの概要をつかんでいただくコースです。※本コースはピアソンVUE社が開催するマイクロソフト認定技術者試験(MCP試験)のうち、AZ-900やMS-900といったFundamentals認定試験専用のバウチャーチケットがついています。 |   |         |   |  |             |
| ULG09R   | <a href="#">Microsoftクラウドサービス導入ガイド</a>          | 50,000円 | 1 | 2026-05-27<br>2026-07-08<br>2026-09-07   | 0930 - 1700 |
| 本コースは既存の業務システムをMicrosoftクラウドサービスに移行する際に、どのクラウドサービスの種類を利用すればよいかの指針を解説するコースです。対象となるクラウドサービスはMicrosoft 365/Dynamics365/Azureです。各クラウドサービスの使い分けを品質・コスト・納期(作業工数)の観点から解説します。  |   |         |   |  |             |
| ULG12R   | <a href="#">まずはやってみる！クラウドでのネットワーク構築</a>         | 30,000円 | 1 | 2026-06-18<br>2026-07-29<br>2026-09-10   | 1400 - 1700 |
| クラウドでの簡易的なシステム構築体験を通じて、クラウドの利便性や特徴を速習するコースです。本コースでは、クラウドの原理原則などの前提よりもまずは触って体験することで、より実感を持ってクラウドを理解することを目的としています。また、受講を通じて前提知識の不足などへの気づきを促し、本格的なクラウド学習に向けた事前チェックの観点も含んでいます。   |   |         |   |  |             |

## 新入社員/若手社員

| 研修コード  | コース名                                     | 受講料<br>(税別) | 日程 | 開催日程                                   | 時間          |
|--|--|-------------|----|--|-------------|
| ULA88R   | <a href="#">時間の使い方入門～自身の改善ポイントを見つける～</a> | 50,000円     | 1  | 2026-05-18<br>2026-06-26<br>2026-08-25 | 1000 - 1600 |
| 時間が足りない、時間に追われていると感じることは誰にでもあると思います。時間に関する認識を新たにし、ちょっとした習慣を身につけることによって、より効果的に時間を使うことができます。時間の使い方の上手い/下手は、仕事の生産性だけでなくモチベーションにも影響します。本コースでは、演習を通して自身の時間の使い方について改善ポイントを見つけます。 |  |             |    |  |             |

## <お申込について>

- お申込締切日:開始日の10営業日前
- 日程変更・キャンセル締切日:開始日の7営業日前 ●募集定員:1~3名程度
- お申込み方法:お申込書にご記入の上、下記へメールまたはファクシミリでお送りください。  
(ご希望の方にはお申込書を Word ファイルでお送りします、ご連絡ください)
- お申込・問合せ先:熊本ソフトウェア株式会社[会場はこちら]  
熊本県上益城郡益城町田原 2081-28  
TEL 096-289-2395 FAX 096-289-2132  
E-Mail [edu@kmt-ics.co.jp](mailto:edu@kmt-ics.co.jp) (お申込書データをお送りします)

※オンライン研修は、品川ラーニングセンターで開催している講習会をインターネット経由で配信するため、品川LCで開催中止になった場合は「オンライン研修」も開催中止となります。開催の可否は3週間前に判断されます。  
(名古屋LCから配信されるコースも含まれます)

## KSK 熊本ソフトウェア株式会社

KUMAMOTO INSTITUTE COMPUTER SOFTWARE Co.,Ltd

〒861-2202 熊本県上益城郡益城町田原2081-28

<ITスキルアップセンター>

TEL.096-289-2395 FAX.096-289-2132

### 交通アクセス

|                               |                          |
|-------------------------------|--------------------------|
| 熊本 LC から.....12km (車で約20分)    | 熊本県庁から.....15km (車で約20分) |
| 益城熊本空港 LC から.....8km (車で約15分) | 熊本駅から.....24km (車で約50分)  |
| 熊本空港から.....2km (車で約3分)        |                          |
| くまもとエミナス前停留所から... 徒歩約3分       | テクノリサーチパーク停留所から... 徒歩約3分 |

### 講習会場地図

